

10. 家庭電気品

HOUSEHOLD ELECTRIC APPLIANCES

10.1 電動機応用機器

10.1.1 扇風機

34年度扇風機として特色のあるものは、25 cm クレール、30 cm バラード、30 cm オートクレール、30 cm スーベル、40 cm ウェービー B、ピアノ、があげられる。

25 cm クレール(第1図)は30 cm 高級扇同様の高性能プラスチック羽根を新製し一段と製品内容を充実させた。

30 cm バラード(第2図)は新感覚のデザインで電動式オルゴールがベースに内蔵され、扇風機の作動とは別個に自由に利用できるもので、わが国初めての試みである。ほかに新機構の首振角度調整装置がそなえてあり意匠上からも非常に好評であった。

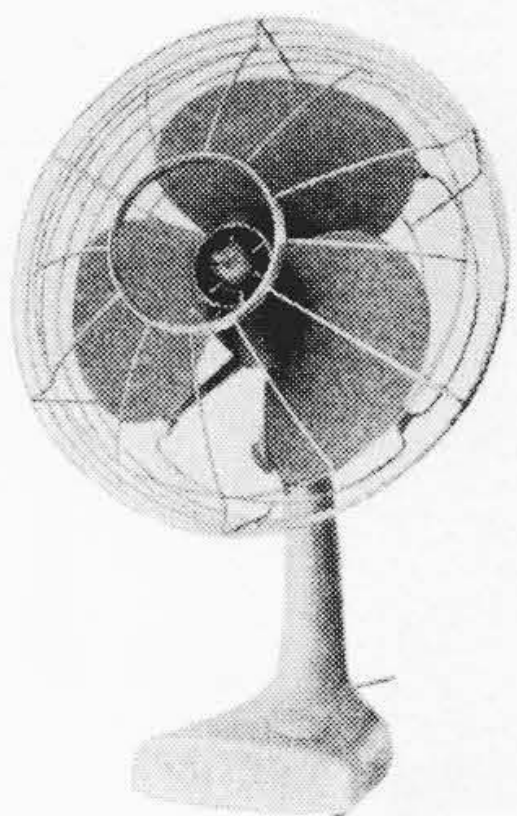
30 cm オートクレール(第3図)は、高さ 55 cm から 75 cm まで自由に調節できる新機構をそなえており、ベースには押ボタンスイッチ、60分タイマーが内蔵され、またバラードと同様首振角度調整装置などの特長をそなえている。

30 cm スーベル(第4図)は従来の扇風機に比較して能率本位の羽根、重量を軽減したベースなどむだのない設計のもので、俯仰、首振、壁掛が可能で上に特殊なくま取線輪モーターを使って速度調整範囲を非常に大幅なものとした。

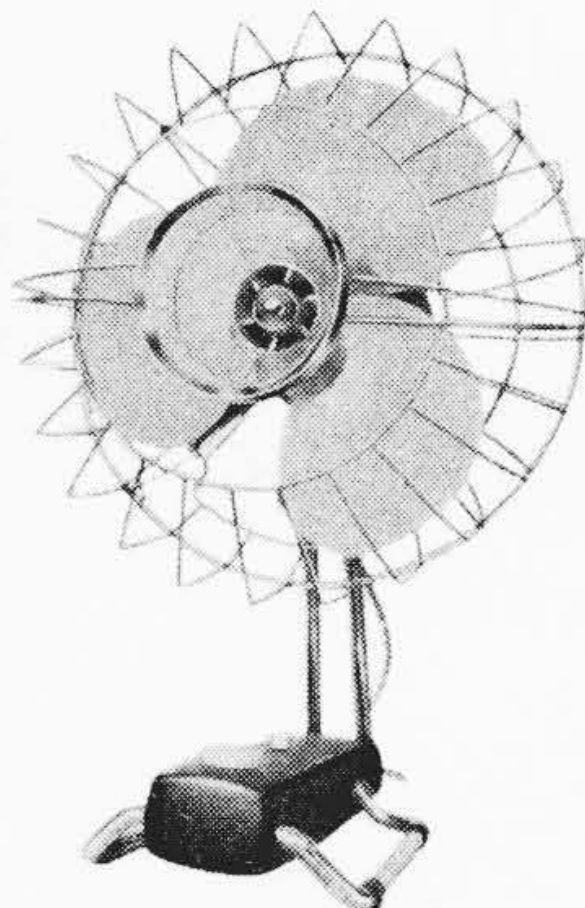
40 cm ウェービー B(第5図)は、風量風速が断然大きくもっぱら業務用向のものである。壁掛けも可能であり、羽根の改良により一段と音が小さくなった新形である。

ピアノ(第6図)は、セントリフューガルファンを使用した新構想のもので、上向、下向の角度調整から風量の調節まででき、種々の点で好評であった。

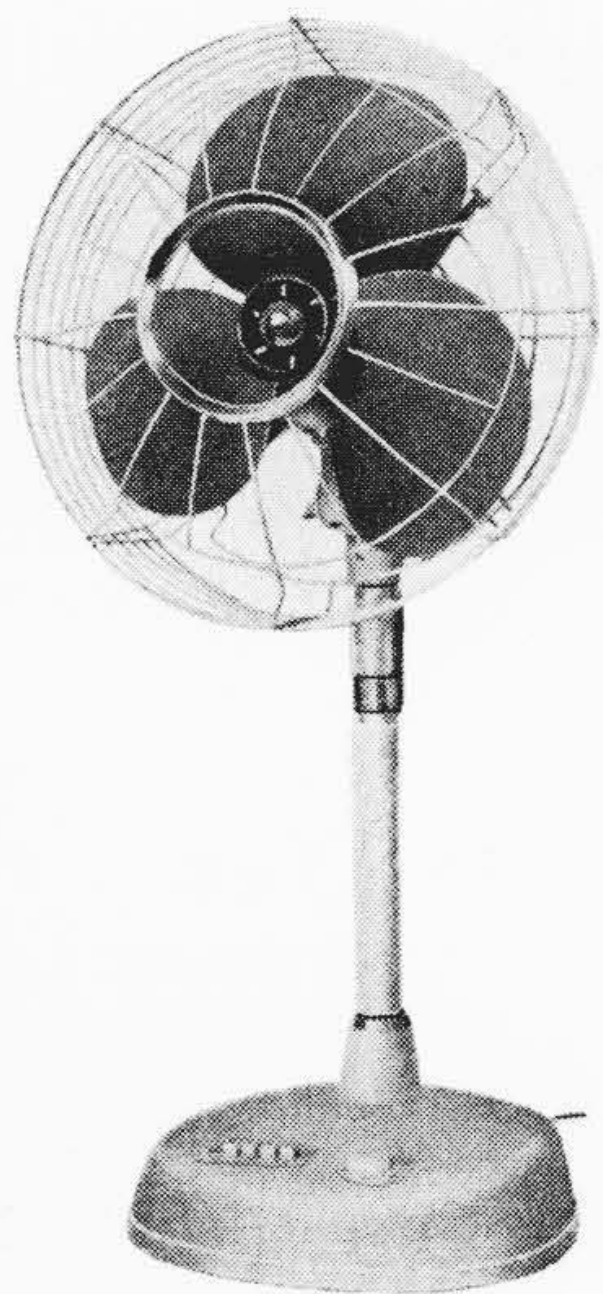
総じて34年度は性能の向上と相まって新機構の首振調整装置、押ボタンスイッチ、タイマー、オルゴールなど独特の機能をそなえた新製品を多数製作した。



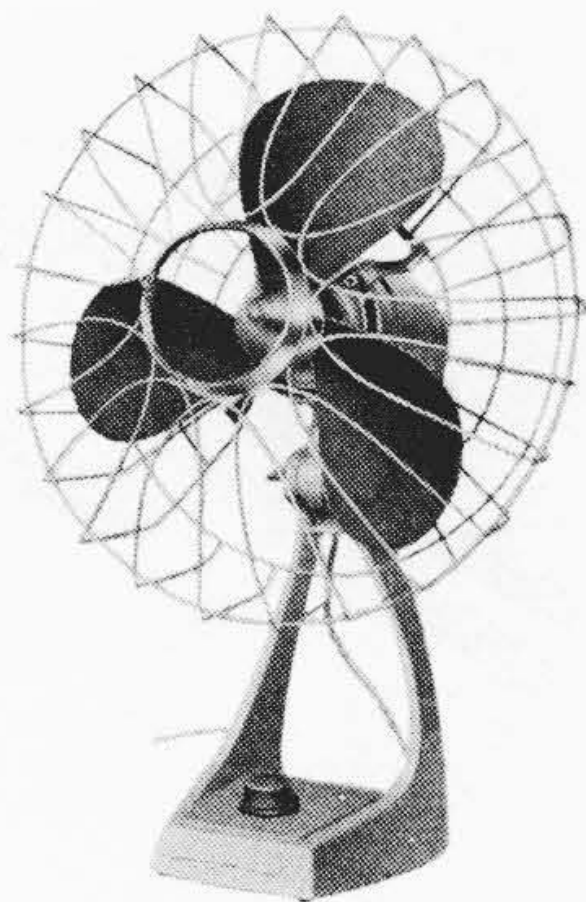
第1図 25 cm 卓上扇クレール



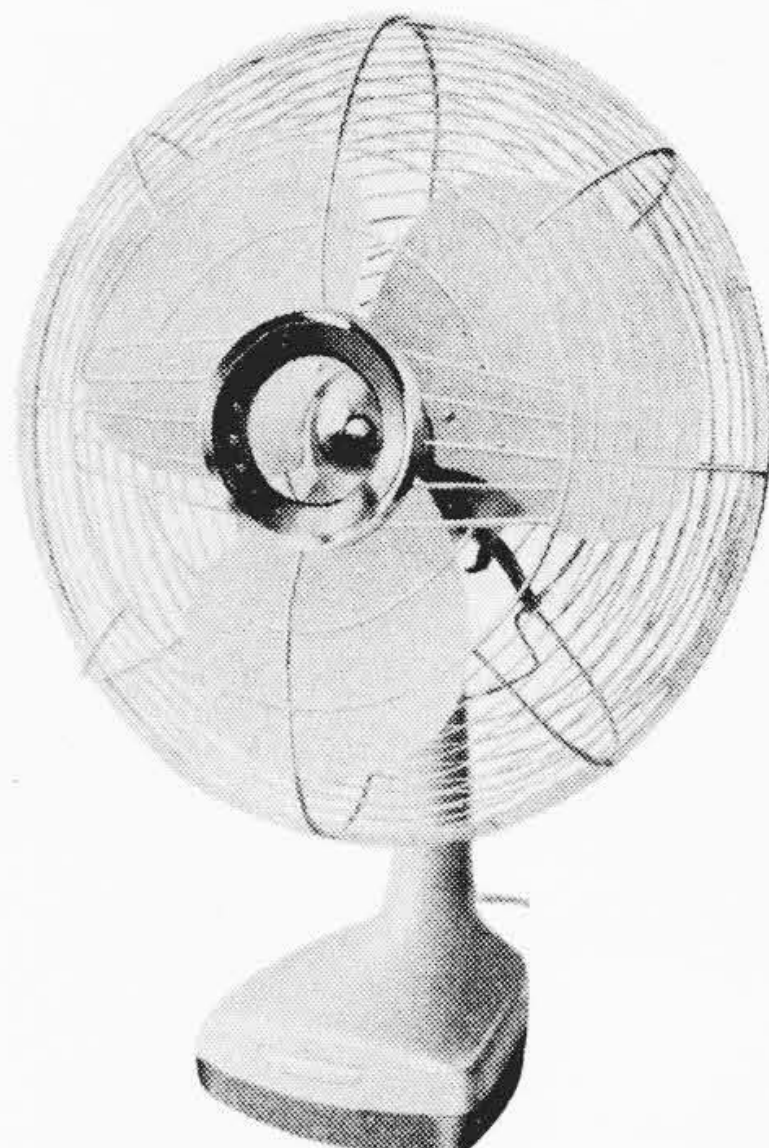
第2図 30 cm 卓上扇バラード



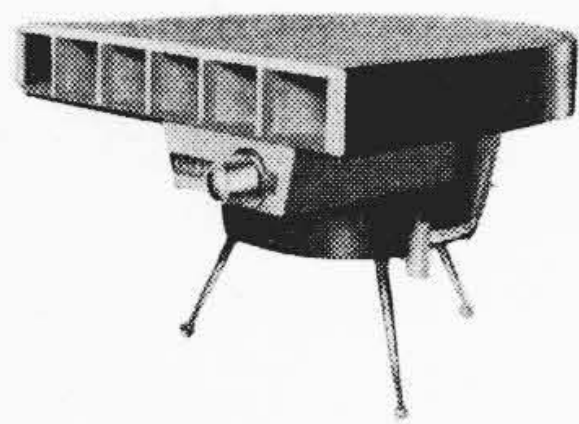
第3図 30 cm 卓上扇オートクレール



第4図 30 cm 卓上扇スーベル



第5図 40 cm 卓上扇ウェービー B



第6図 卓上扇ピアノ



第7図 SH-PT₃₀ 形移動渦巻式洗濯機



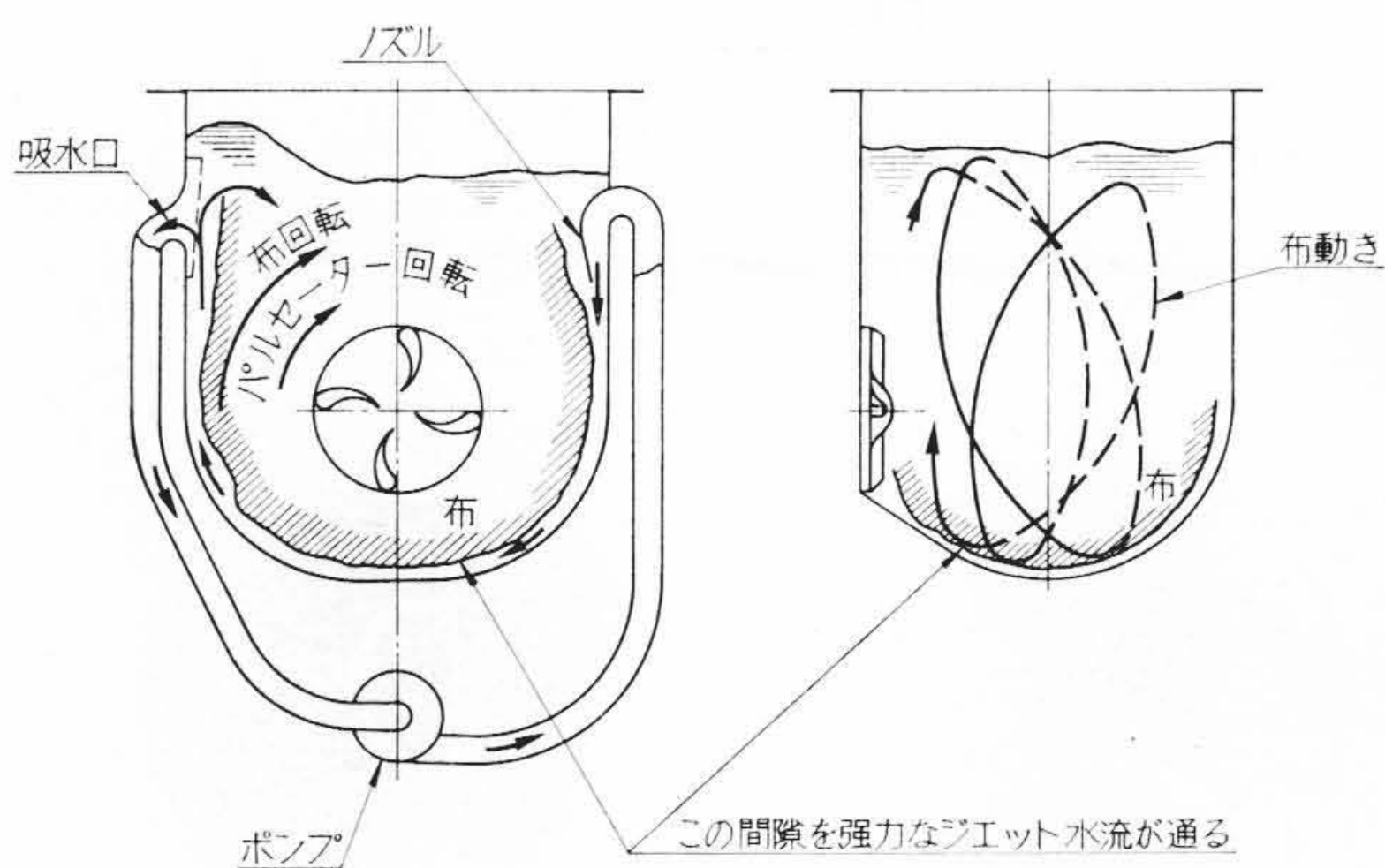
第8図 SH-JT₁₀ 形ジェットアクション式洗濯機

10.1.2 電気洗濯機

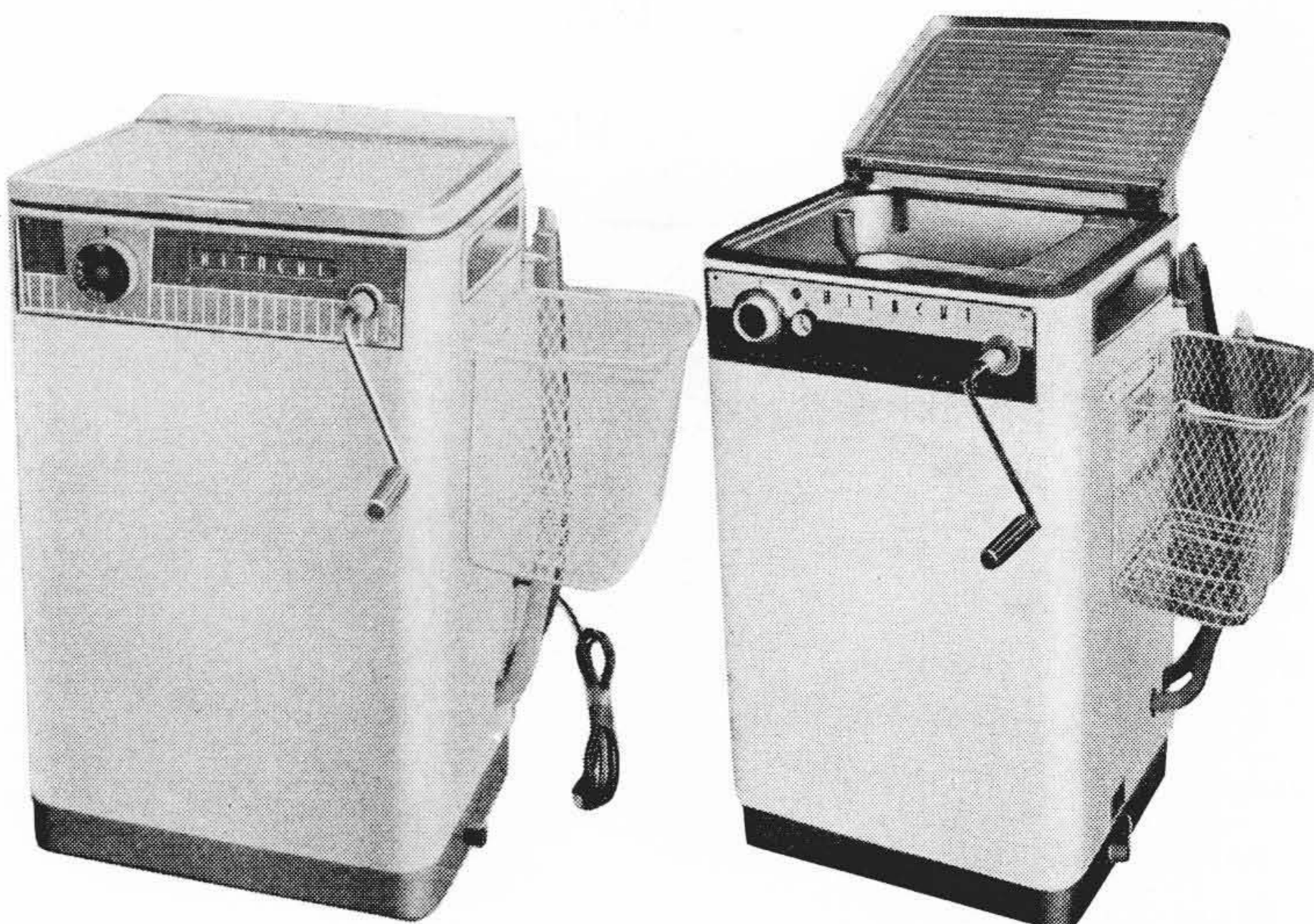
34年度は、渦巻式の改良形のほか、日立独得のジェットアクション方式の新機種を開発した。

(1) SH-PT₃₀形 移動渦巻式洗濯機

特殊形状の固定翼パルセータを用いた強弱切換方式の移動渦巻式で、布のかみ込みを防止するためにパルセータの外周から洗たく水を槽内に噴射せしめる方式をとり、またパルセータを傾けて



第9図 ジェットアクション式洗濯機機構図



第10図 SH-JT₂₀形ジェットアクション式洗濯機

第11図 吸水ポンプ付SH-JT₃₀形ジェットアクション式洗濯機

取付けた。

(2) SH-JT₁₀形 ジェットアクション式洗濯機

この洗たく方式は洗たく水をポンプに引いて加圧し、これをノズルから槽内に噴射させて槽壁に水流の膜をつくる。洗たく物は移動渦巻形パルセータとジェット水流との両者により無理なく動かされ、あたかも衛星の軌道のように回転し、もつれずいたまな。これがジェットアクション式である。この方式によれば洗たく水に微細な気泡が混入し、また布屑などはろ過されるので洗浄効果は非常によい。また排水はポンプによる強制排水式である。

(3) SH-JT₂₀形 ジェットアクション式洗濯機

洗たく方式は SH-JT₁₀ 形と同じであるが、さらに取扱上の便利さを強調したもので、台所、廊下などでも能率的に使える二面操作形とし絞機は内蔵されている。蓋はヒンジ付とし、ダイヤルには布地目盛をつけ、洗たく物の持運びに便利な受かごなどの特長が盛り込まれている。また意匠は画期的なトリムラインで34年9月以降の発売品である。

(3) SH-JT₃₀形 ジェットアクション式洗濯機

風呂のお湯や遠く離れた水源の水を汲みあげるのに便利な吸水ポンプのついたジェットアクション式である。

10.1.3 電気掃除機

(1) C-V3形 300W ヒッターバックの軽量化と品質向上

C-V3形 300W ヒッターバックは独得の消音構造によって騒音が著しく小さいこと、ビニールホース、フィルタ式集じん装置の採用により操作性がすぐれていることなどの特長で、一般家庭用として好評を博してきたが、34年度にはさらに改良が加えられていっそう使いやすい掃除機となった。

改良のおもな点は

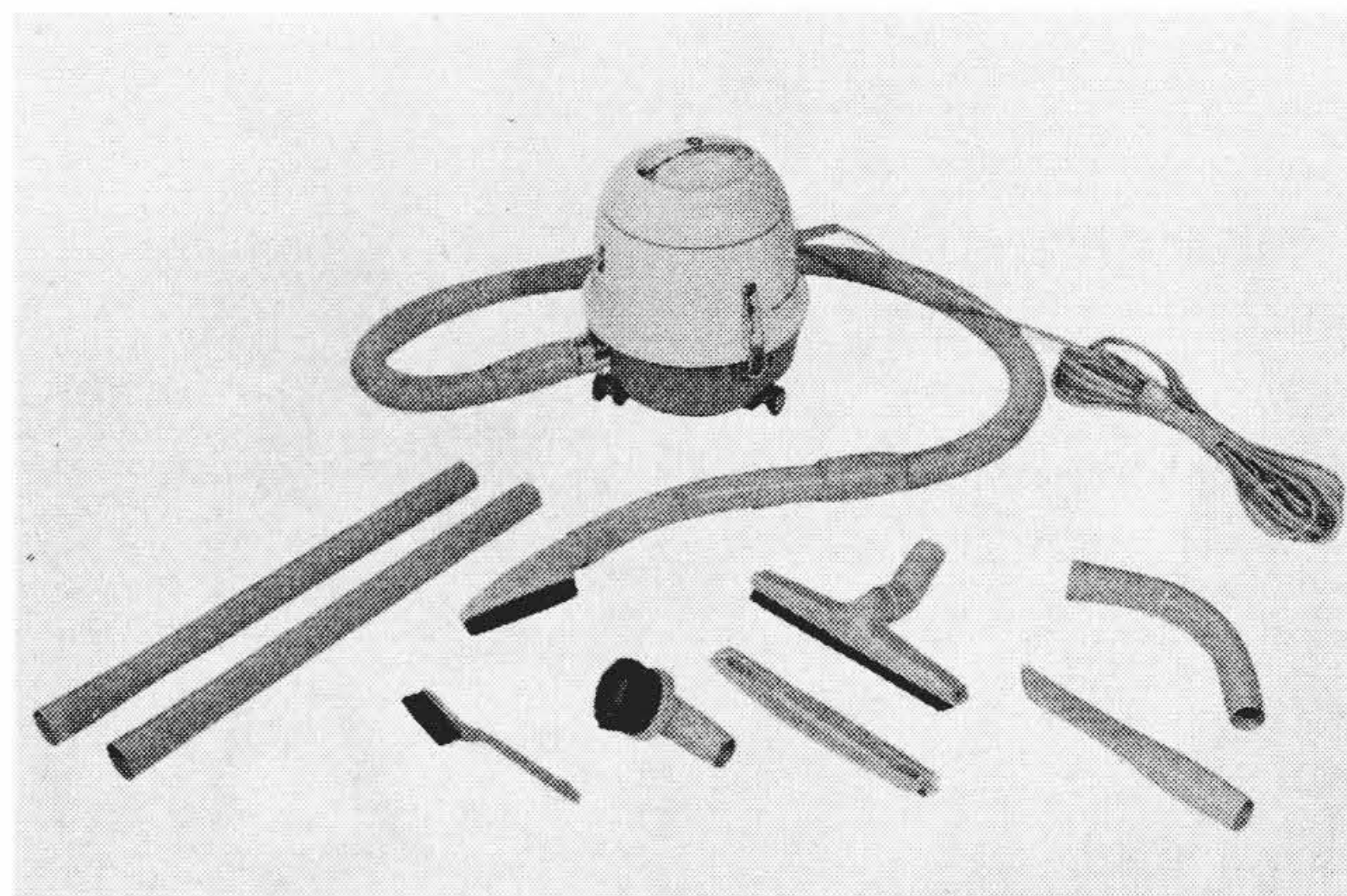
- (a) 最新の設計、製作技術の駆使によってモートルを小形軽量化し、家庭用として運搬も容易で操作もより軽快なものとした。
- (b) 本体掛金具部の構造を改良し、たまったじんあいを捨てる際の本体着脱の操作性を向上した。
- (c) ポリエステル系ワニスの採用により、電機子の高速における性能を向上し、寿命を著しく延ばした。

(2) CF-V2形 1kW 産業用電気掃除機

産業用電気掃除機は一般家庭用のものに比して強大な、吸込力と広大な集じん容積を有しているが、反面音響が大でまたこの取扱いにおいても若干不便な点はまぬがれなかった。

本機は従来の産業用におけるこれらの不備な点を改良したもので、そのため一般工場以外の事務所、病院などにおける使用にはさらに好適となり、産業用掃除機の利用範囲が拡大された。

すなわち本機には特殊消音装置が設けられており運転静粛で、またタンク下部には着脱自在の集じんタンクが設けられており、



第12図 改良されたC-V3形ヒッターバック

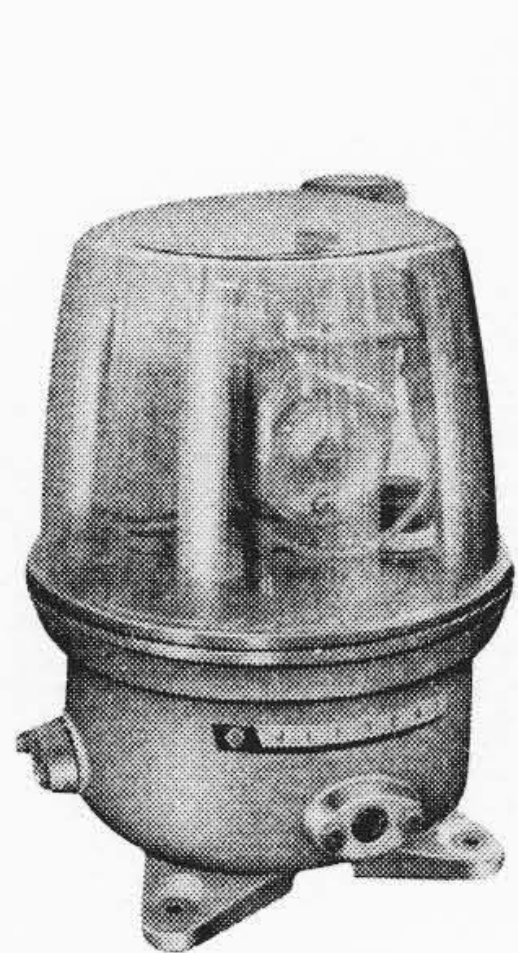


第13図 CF-V2形 1kW 産業用電気掃除機

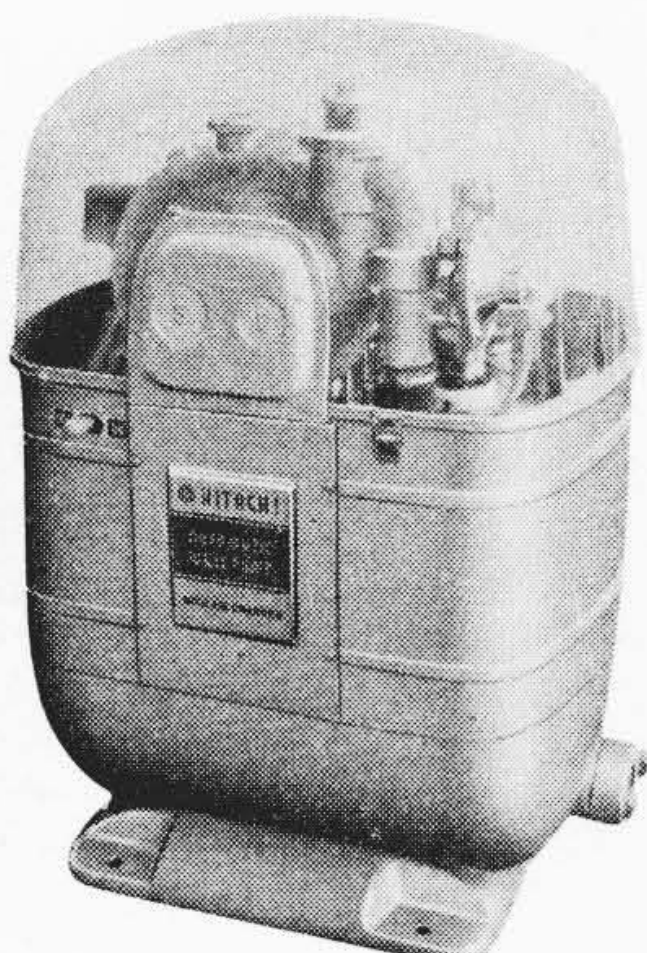
そのためじんあい廃棄もきわめて容易である。また大車輪と移動用ハンドルを有するため女子でもきわめて容易に取扱うことができる。そのほか付属品かごが設けられているため吸口などの交換使用、保管にも便利である。

10.1.4 電気ポンプ

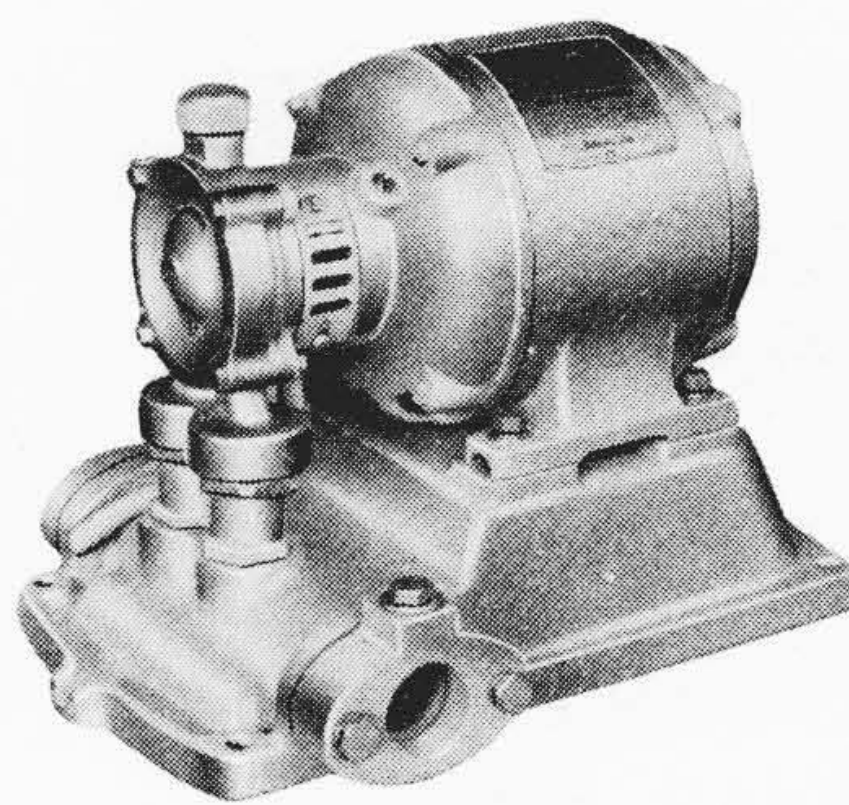
電気ポンプは、34年度も各方面からの要望にこたえ、次のような新製品を完成していっそうの向上をみた。



第14図 WT形 100W
自吸式浅井戸ポンプ



第15図 JT形 250W
ジェットポンプ



第16図 A形 400W 浅井戸
ポンプ



第17図 MJ 14 形ミキサー
外観

(1) WT形 100Wおよび 200W自吸式浅井戸ポンプ

自吸式ポンプは、従来の非自吸式が、揚水の際多量の呼水が必要とすることや、揚水管の水を抜くことのできない不便のあった点を改善したものであり、この方式に考案を加えた結果、ほかに類のないすぐれた自吸性能を与えることに成功した。またポンプに必要な付属品は、全部タンクの上部に設け、保守点検、分解修理の容易な構造とし、軸封部にはメカニカルシールを採用して、揚水特性を従来よりもさらに向上させた。全砲金製のポンプヘッド、防寒装置などは従来と同様である。なお極寒地向に便利な降水装置付や三相モートル付自吸式ポンプも同時に製作した。

(2) JT形 250Wジェットポンプ

さきに150Wジェットポンプを生産し、深井戸用ポンプの販路拡大に成功したが、この経験を生かして性能上構造上さらに改良を加え、大容量のポンプとして完成したものである。またこれは、吸上高さ12mが標準であるが、ジェット部のみを交換することにより18mの井戸からも水を吸上げることができ、一段とジェットポンプの利用価値を増した。

(3) A形 400W浅井戸ポンプ

従来の9AP形ポンプの自動装置を取りはずしたポンプで、価格が低廉でしかも大流量が要求される分野に最適である。これにも単相用、三相用の二種類がある。

10.1.5 電気スーパーミキサー

外観を新たにして MJ1-4 形スーパーミキサーを完成した。独特のスキュードカップとステンレスカッターによって生ずる強力な粉碎と攪拌作用は依然として日立スーパーミキサーの最高の性能と特長であるが

- (1) 運搬、取扱いに便利なハンドル
- (2) 左右いずれにも回転することにより断、高速、低速のいずれからいずれへも自由に切替えられるロータリースイッチ
- (3) ツートーン、パステルカラーのやわらかい味わいの本体によくマッチした艶消しガラスのカップ

などが新形の特長である。

10.2 冷凍機器

33年12月はじめより販売を開始した34年度日立電気冷蔵庫は、デザイン、性能、機構に一段の改良を加え使いやすい冷蔵庫として、激しい販売戦の中によく業界第一の地位を確保し、著しい成果を収めた。

またウインドウ型エアー・コンディショナーも昭和33

年に発売した750Wに引続き75-WM型(550W, 1φ100V)と100-WM型(750W, 3φ, 200V)の2機種を、市販し非常な好評を博した。

10.2.1 冷蔵庫の概況

34年度は内容積 260 l の豪華版をはじめとしM-200型, M-160型, M-110型, M-110A型, M-95型, M-95A型, M-70型の8機種を生産し家庭用、業務用、保健用ならびに研究用など多くの用途に即応できる態勢をととのえ、さらに特殊業務用としてフルーツ・クーラー、バター・クーラー、を生産して需要に万全を期した。

10.2.2 冷蔵庫の最近の需要傾向について

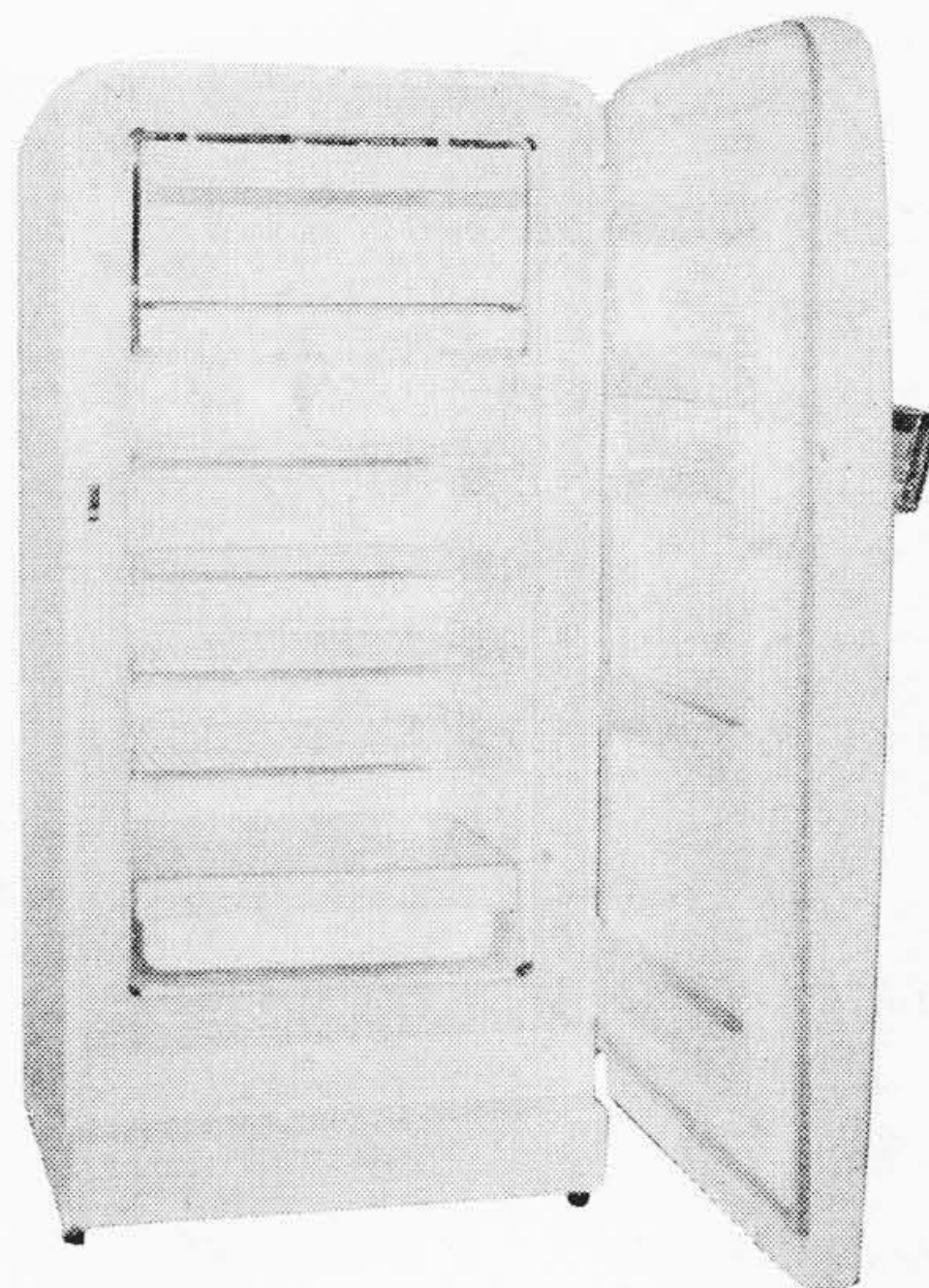
34年度需要の特長は従来の比較的高額所得層から低額所得層に移行してきた点にある。したがってその販路も一段と拡大され、食生活のレベルアップに伴う冷蔵庫の需要はますます大きく、その普及は逐年上昇の一途をたどっている。

10.2.3 M型冷蔵庫の特長

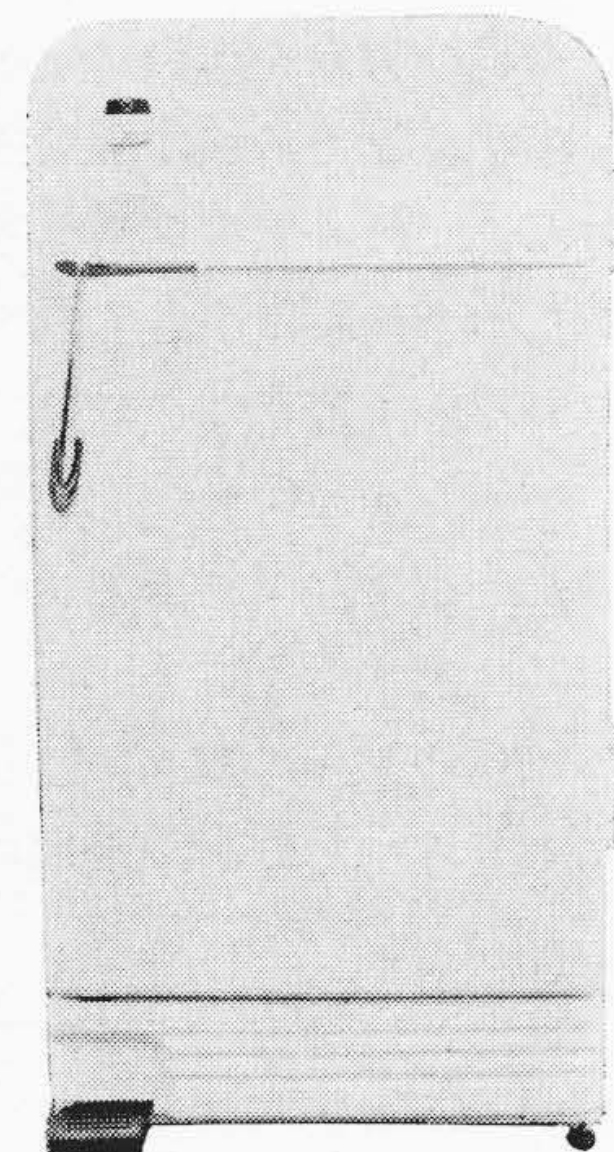
34年度は全機種に宝石を配してペットネームをつけ、新感覚の飛躍的デザインを採用し、外観、内部構造、内容、性能の向上を期した。なお機種も従来の6機種に対してペダル式ドアのものを2機種加えて8機種とし、あらゆる方面の需要にこたえた。

特に

- (a) 全機種に採用した引出し式たな網
- (b) 冷却能率の良い全幅のアルミシートエバポレーター
- (c) 内蔵型の庫内灯
- (d) 扉ポケットの収容力が大きい



第18図 M 260 型電気冷蔵庫



第19図 M-95A 型電気
冷蔵庫

などの特長は日立電気冷蔵庫の据付面積が小さく、有効な面積が大である従来の特長に加えて、遺憾なくその真価を発揮した。

(1) M-260型

最高級の電気冷蔵庫として多量の冷凍食品の貯蔵と多量の氷が急速に作れる全幅型アルミシートエバポレーターを採用し、たな網は貯蔵品の高さに応じて上下調節可能で食品の出し入れにも便利な引出し式になっており、果実、野菜類の貯蔵に最適な大容量引出し式野菜容器とバター入れの付属した四段ドアポケットは内容を飛躍的に充実した。

(2) M-200型, M-160型

外観も内容も M-260 の姉妹品として的高级電気冷蔵庫である。

(3) M-110型, M-95型 および M-110A型, M-95A型

外観も内部も画期的な新感覚デザインを採用した家庭用の電気冷蔵庫で特に M-95, M-110 は小型にもかかわらず全幅型冷凍室を備え、ドアポケットにはビールその他の食品を多量に収納できるようになっている。また M-95A, M-110A は従来のハンドル機構を一新した日本で初めてのペダル式ドアで非常に好評を博した。このペダル式ドアは冷蔵庫下部に取り付けてあるペダルを、足で踏むことによって、ドアが自然に開くもので、バネを用いた蓄力作用を利用した新しい着想に基いたもので、両手がふさがっている時でも容易にドアを開閉できる。

(4) M-70型

小型ではあるが外観性能ともに M-95 に劣らぬ普及版である。

10.2.4 フルーツ・クーラー, バター・クーラー

特殊業務用として生産したフルーツ・クーラーは果実、高級野菜の展示販売用として、またバター・クーラーはバターチーズなどの展示販売用として、いずれも扉前面に二重ガラスの窓を配したもので、新たな市場で使用されている。

10.2.5 ウインドウ型エアー・コンディショナー

昭和33年101-WL型 (750W, 3φ, 200V) を市販し非常な好評を博したが、本年は 100-WM型 (750W, 3φ, 200V) のほかに 75-WM型 (550W, 1φ, 100V) を加えて2機種とし、性能、外観、構造など数々の改良が施されている。

おもな特長はキャビネットは窓に取付けるために、その奥行を薄くし、かつ高さの低い Thin and low type とし、前面カバーはオールプラスチック製で、和室にも洋室にも良く調和する新しい感覚のユニークなデザインを施してある。

運転操作はスマートで手軽な押ボタンスイッチにより冷房、清浄ならびに排気などの操作が容易にできる。また温度調節器を付けてあるので、部屋の温度も調節でき、快適な冷房、除湿を行うことができる。

冷風の方角を自由に変えるためには丸形の風向板があり、部屋のすみずみまで一様に風を送ることができるようになっている。

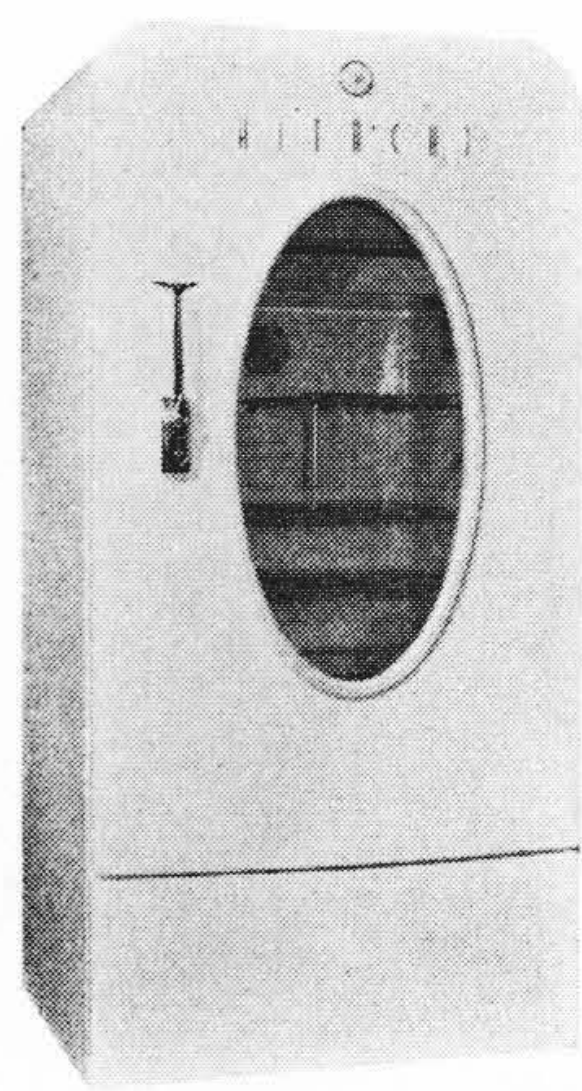
キャビネットの構造は堅牢で、しかも圧縮機は防振装置が施してあるので振動は小さく、またファンに対しては十分な防音が施されているので運転はきわめて静粛である。

フィルターは高性能のサラシ・ネットのフィルターを使用しており、小さなゴミでも完全にろ過し非常に衛生的であり、また水洗が容易にできる。

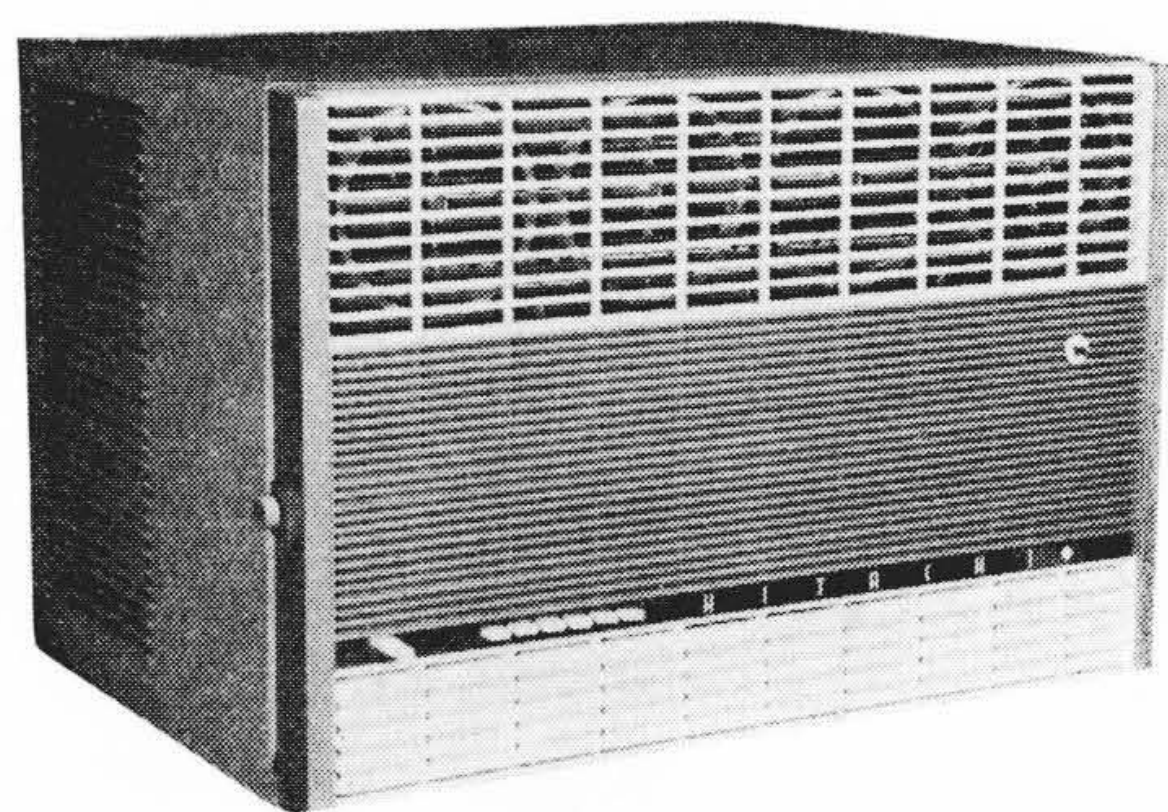
以上のように数々の特長をそなえたもので年を追うごとに、需要も上り坂にあり、今後期待される製品である。

10.3 電 熱 器

電気を熱にして使うことは同一熱量をうるということではほかの燃料と得失を比較した場合、燃料費の点では最も高価につくものである。しかし、効率が低いこと、衛生的であること、取扱いが容易で



第20図 M-230F型フルーツ・クーラー



第21図 ウインドウ型エアー・コンディショナー (75-WM型)

安全なこと、温度制御が容易なこと、点火消火が簡単で確実なことなど数多の利点があるので、電熱器は次第にその分野を拡大しつつある。しかしその進歩は当然電気としての特長を最大に生かした方向に進むべきで、すべての電熱器は自動的に操作制御されるという方向をとっており、この点はほかの燃料を使用する器具のはるかに及ばないところである。

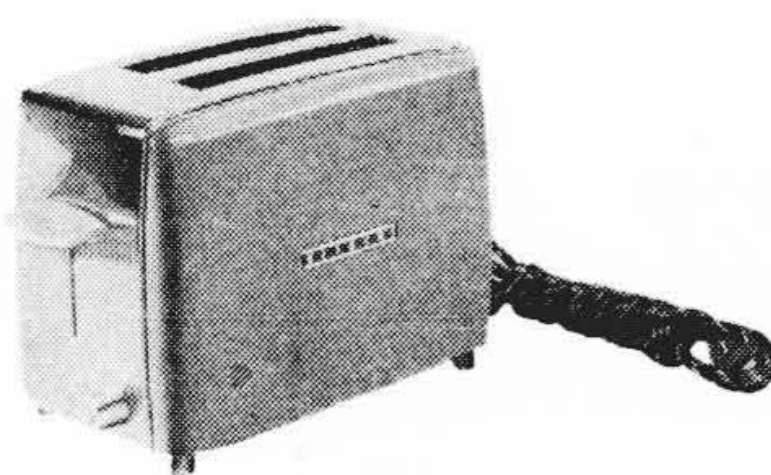
御飯が炊き上げれば電気が断たれる電気釜、パンが焼ければ飛出すトースター、調理物を任意の温度に保つ自動温度調節の鍋、フライパン、ポット、常に任意の温度の湯が出る温水器、必要な掛面温度を保つアイロンなどすべて自動化へと進んでいる。

10.3.1 電気厨房器具

(1) トースター

トースターでパンを焼いていてちょっと油断したために真黒なパンを作ってしまった経験は誰でもあると思うが、この心配を無くしたものが TA-610 形自動トースターである。

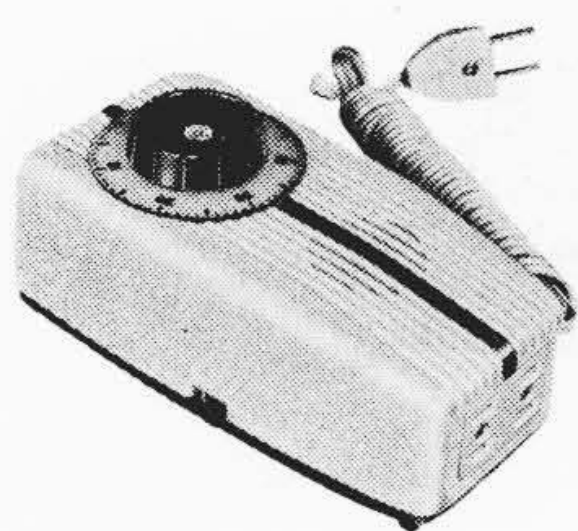
これは2枚焼のポップアップ形トースターであるが時計仕掛けのタイマーを内蔵していてパンを入れる操作により通電しタイマー



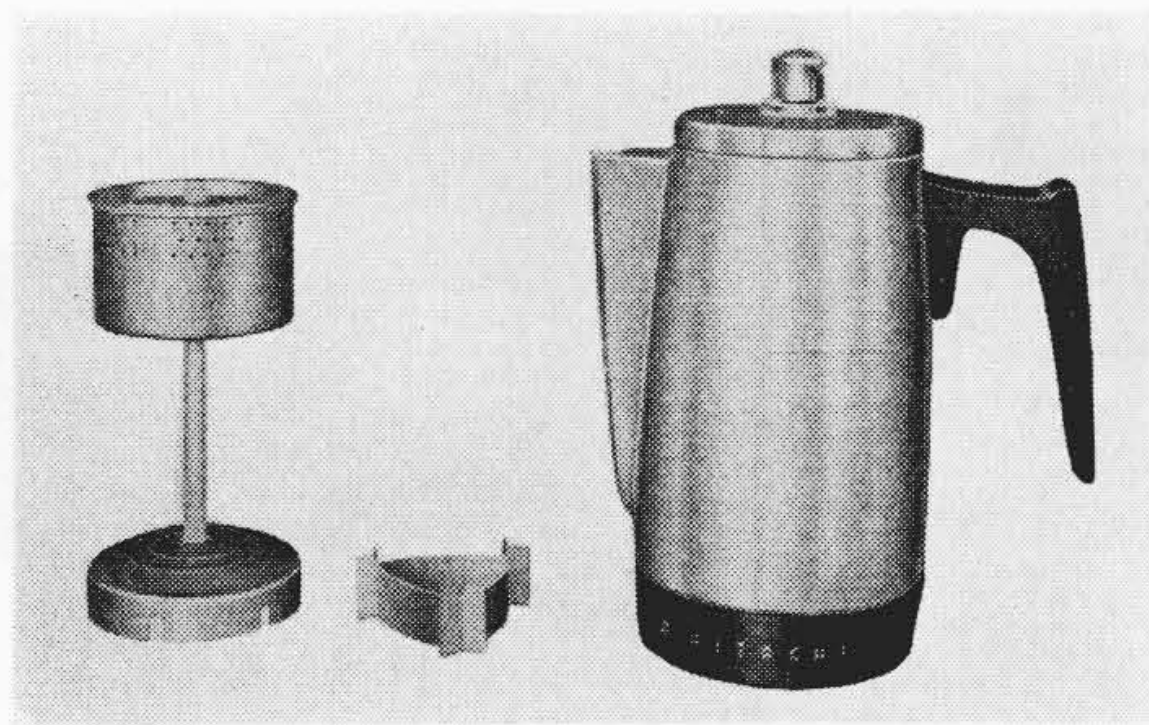
第22図 TA-610形自動トースター



第23図 HS-610形 600W 電熱器



第24図 TS-410形
ホームタイマー



第25図 CP-510形電気ポット
(コーヒー沸しセット、ピン台)



第26図 IK-610形
ホビーアイロン

第27図 IH-420形アイロン、スイッチ付

が始動する、その後所定の時間が経つと電流を断ちパンを押上げる。タイマーの動作時間は調節ノブにより変えられ、好みの焼けぐあいに調整される。

(2) こんろ

HS-610形600Wこんろは、内外2個の300Wヒータエレメントを並列または直列に接続することにより、600W-300W-150W-断の4段階に切替えを行うもので、とろ火のできる調節機構をもったものである。

(3) TS-410形日立ホームタイマー

家庭生活のオートメーションを一段とすすめるものとして、日立ホームタイマーが製作された。容量は100V、10A、1kWまでの家庭電気品に使用できる60分用の精密短時間タイマーである。

扇風機、ラジオ、テレビ、トースターなどを、希望の時刻に自動的にスイッチを入り、切りするばかりでなく、ブザーが内蔵されているから、煮物の完了時刻、ガス風呂の点滅時間写真の現像完了時刻などの、報知器としても使用できる。

(4) 電気ポット

手軽にしかも短時間に、お湯を沸かしたりコーヒーを沸かしたりできる、CP-310、CP-510形電気ポットが完成した。CP-310形では湯沸かしとして600cc、コーヒー沸かしとして3杯分(約420cc)、CP-510形では湯沸かしとして1,000cc、コーヒー沸かしとして6杯分(約840cc)の水を約11~12分の短時間で沸かすことができる。ヒーターは熱効率の最も良い水中形である。

付属のピン台を用いて電気ポットで牛乳を温めたり、酒のおかんもできる。

10.3.2 アイロン

IK-610形日立ホビーアイロンは、手芸用として作られたもので容量は60Wと30Wの2段切替式で、布地の種類に応じ切替えられ手芸にも和裁にも使えその用途は広い。

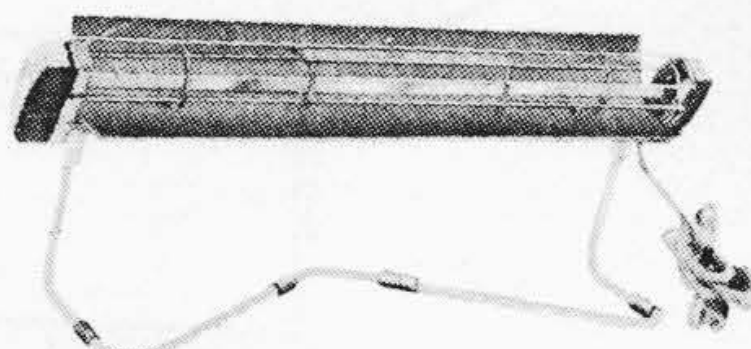
またIH-320、IH-420形普通アイロンを新製品として製作した。これはスイッチ付のアイロンで、掛面の温度を調節するのに、スイッチにより電源を切り、入れすればよいから便利である。

なおパイロットランプが見やすい位置に設けてあるから、通電の状況を目で確かめられる利点があり、災害の防止に役立たせてある。

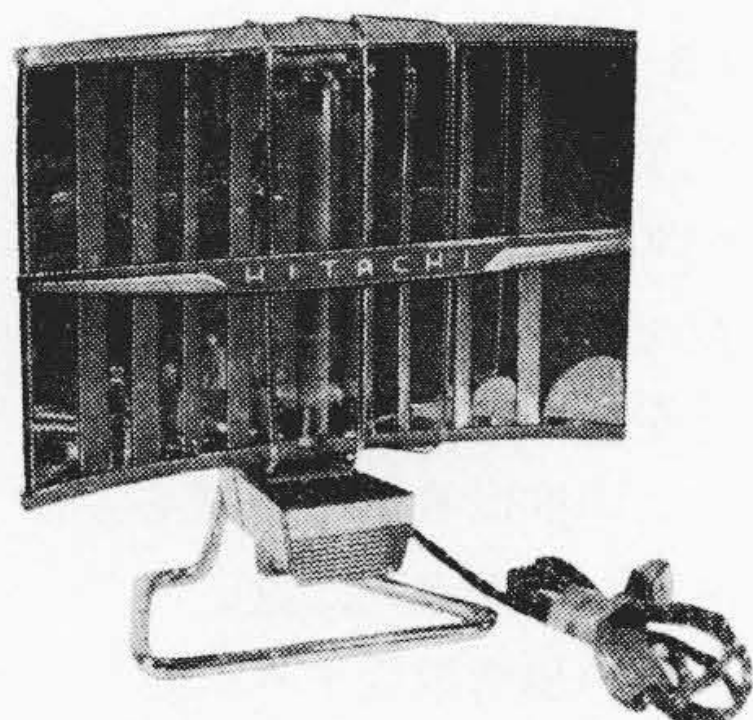
10.3.3 電気暖房器具

(1) ストープ

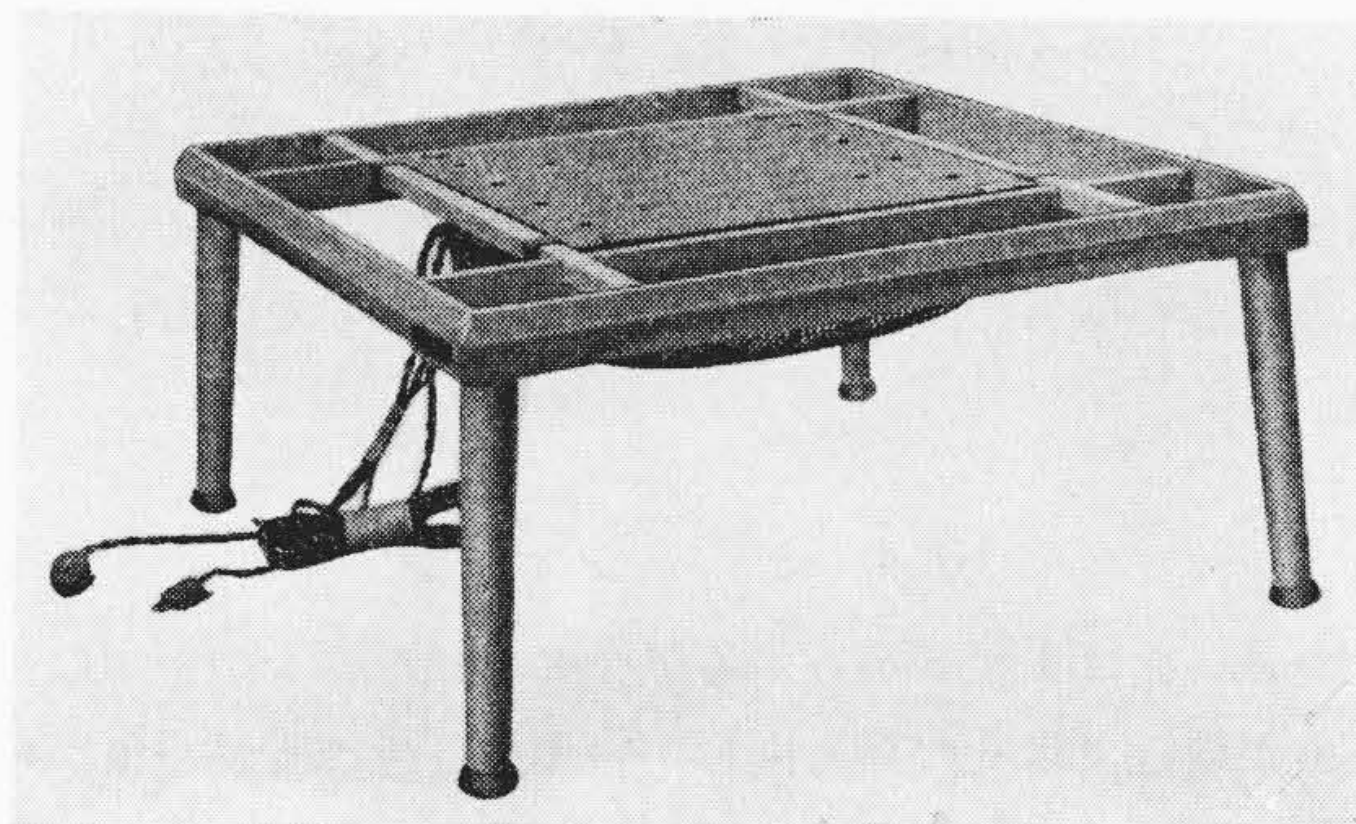
34年度の日立電気ストーブには全面的に赤外線ヒーターを採用した。これは従来のボビン式ヒーターより高温ヒーターを使用しこれを石英管の中に保持したものであって、その温度と石英管の透過率の関係から波長2.5~3.0 μ 付近の熱効果の高い赤外線を多く輻射するものである。従来の同容量ヒーターに比べて輻射エネルギーが大きく遠距離まで到達し、人体に対しては皮膚を浸透して採暖の効果をあげるものである。



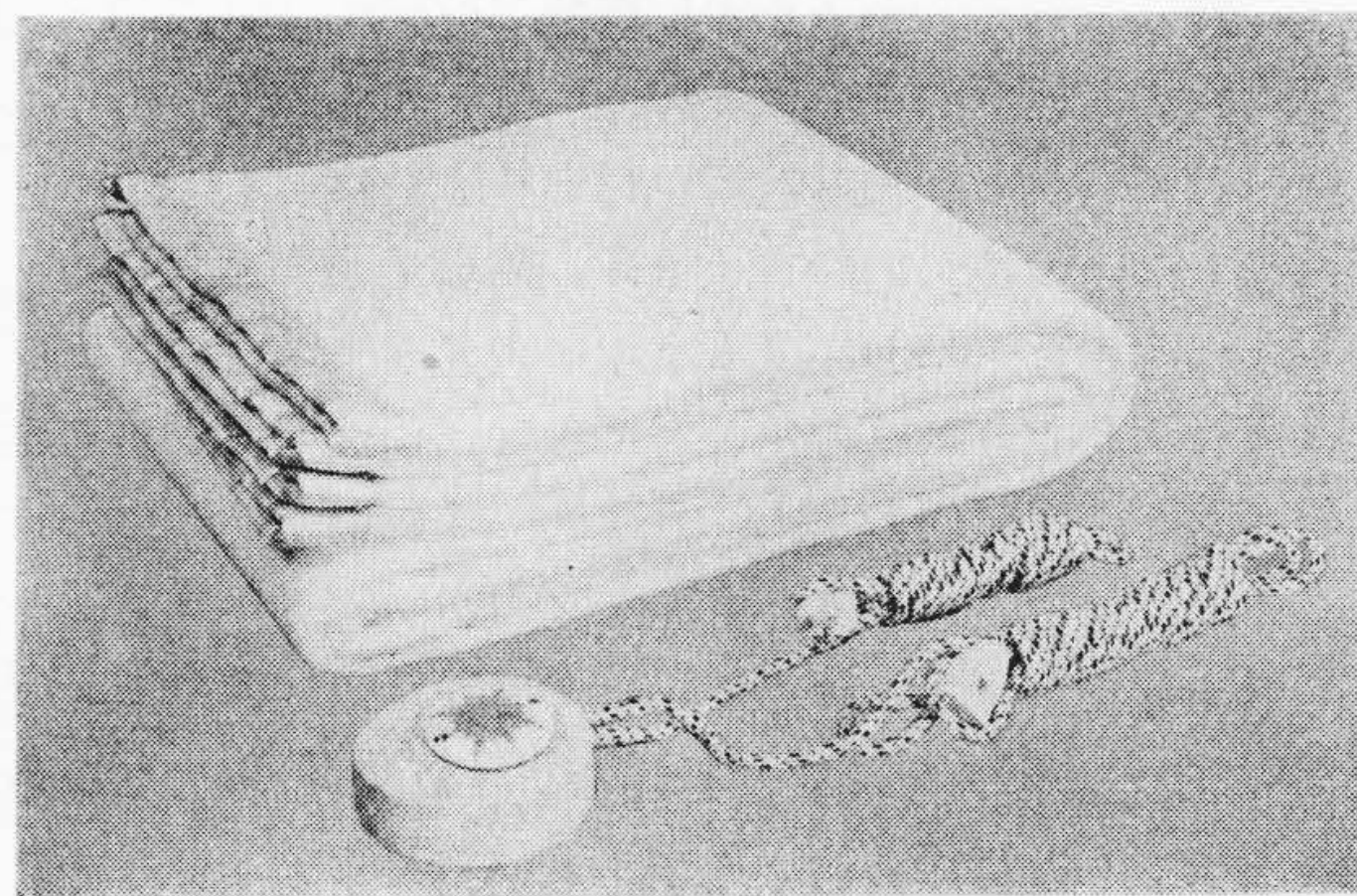
第28図 VH-81形赤外線
電気ストーブ



第29図 VH-82形赤外線
電気ストーブ



第30図 反射こたつ



第31図 YB-11形電気毛布

VH-81形赤外線電気ストーブは赤外線ヒーターの特長を最も良く生かしたもので、横に長いヒーターは放熱面が長く広範囲に採暖できる。またその遠距離輻射の効用を生かして、壁に掛けることもできる構造となっているので腰掛けたときの採暖、食堂や作業場に使用して床や卓上をふさぐことがない。

VH-82形赤外線電気ストーブは従来の反射形ストーブのからを破った新しい形で、特に角度調節ができる構造でありながら水盤を備えていて、傾斜しても水のこぼれることがない。

(2) こたつ

KH-41形およびKH-51形はそれぞれ400, 500Wの反射こたつ

で、数人であたるのに好適であり、足を伸してあたることも自由である。専用の上板をのせればこたつの上は食卓となるが、特にこたつ本体を外してわくのみとし、直接に上板をのせると四周の傾斜部で結合して動かず、立派な食卓として一年中使用できる。

(3) 電気毛布

YB-11 形電気毛布は約30mに及ぶ防水性の外被を有する柔軟なヒーターを全面にわたって配置しこの間に6個のサーモスタットを直列に置いて各部の異常温度上昇に備える構造となっている。毛布の使用温度の制御のためにはコントローラがあり、ダイヤルを回転することにより任意の温度に調節して使用されるが、夜半に室温が下っても毛布は自動的に好みの温度を保って、気持ちよく採暖できるように作られたものである。

10.4 ミ シ ン

ミシンといえばまず昔からある黒い丸形頭部のものを想像されがちであるが最近ではその形も丸形から角形へ色調も黒一色から各種の明るいもの、またツートンカラーなど非常に多種多様にわたっている。

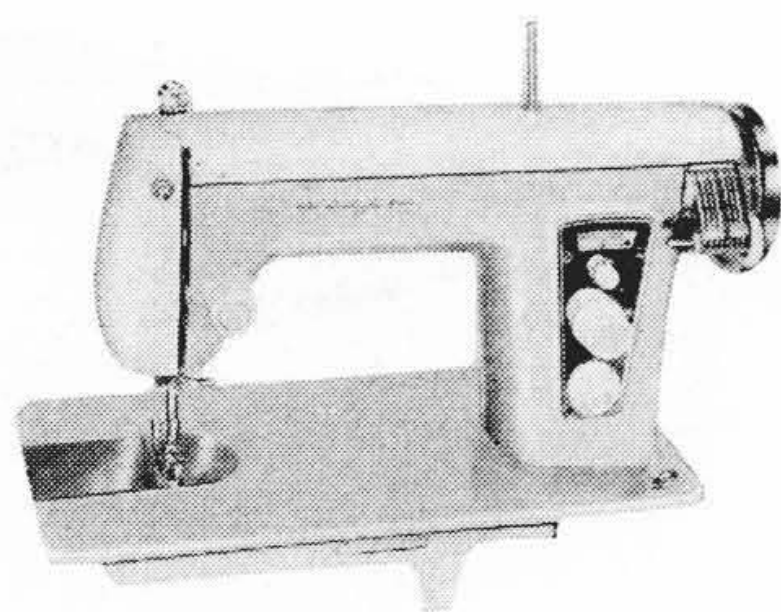
もちろん縫うというミシン本来の機構上にはそう大きな変化はないが、いかにして快適な縫調子が得られるかという点について各処に新しいアイデアがいかされ改良が行われている。

さて誰にも使いやすくいつまでも同じ縫調子が楽しめるミシンとして好評な日立ミシンは34年度もさらに大きな飛躍を続けた。その代表的機種 HLT-500 形に例をとってみれば合理的な設計に基く美しい外観はもとより、いつでもそしていつまでも快適な縫調子が楽しめるという点について色々なアイデアがいかされている。すなわち回転がなめらかで摩擦が少なくそして回転音の低いリンク式天秤機構、針先を明るく照らす面板格納式ミシンライト、縫目の調節や返し縫いが簡単にそして確実に操作できるダイヤル式調節装置（プッシュボタンリバー式）。布地の厚さに応じて送り歯を自由に調節するドロップフィード装置などがグレーページの優美なツートンカラーの色調とあいまって室内の高級調度品として格調を高めている。

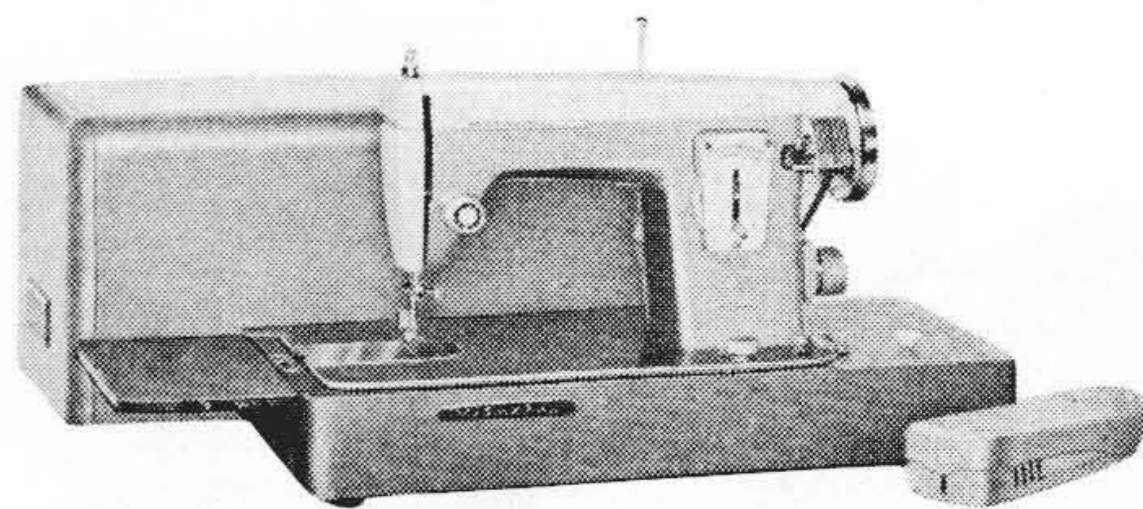
また各種足踏ミシンの頭部にミシンモートルを付け手頃なケースに格納した卓上形電動ミシンや、仕事机、勉強机にもなる利用範囲の広い便利なキャビネット形ミシンおよび主要軸受部に含油合金ニッカロイを使った画期的な高性能職業用ミシンなど、各種豊富にその機種内容が整備された。

10.5 テレビ、ラジオおよび電蓄

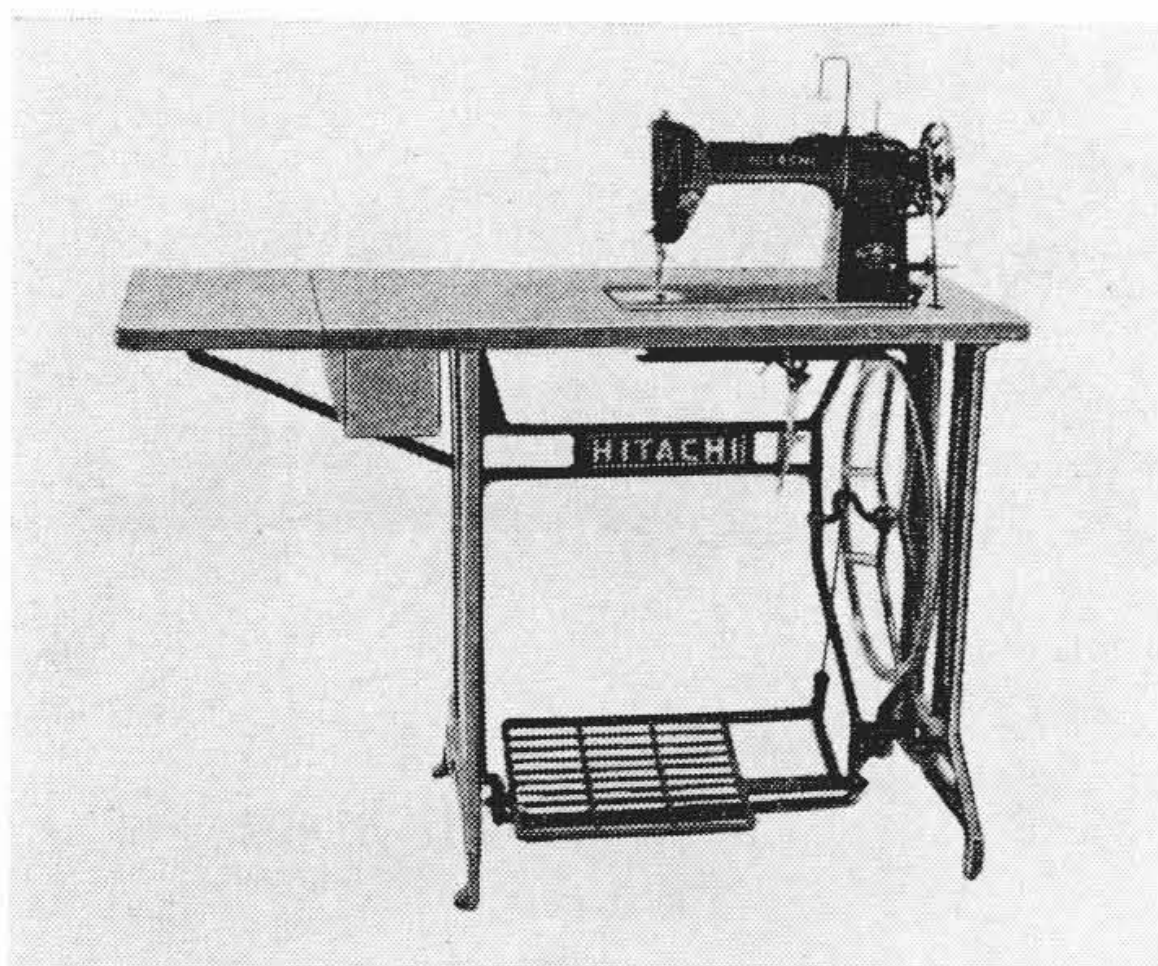
テレビ受信機、トランジスタラジオなどの需要の急増に伴い各社ともこぞって増産に専念した。増産はややもすれば粗製濫造になり



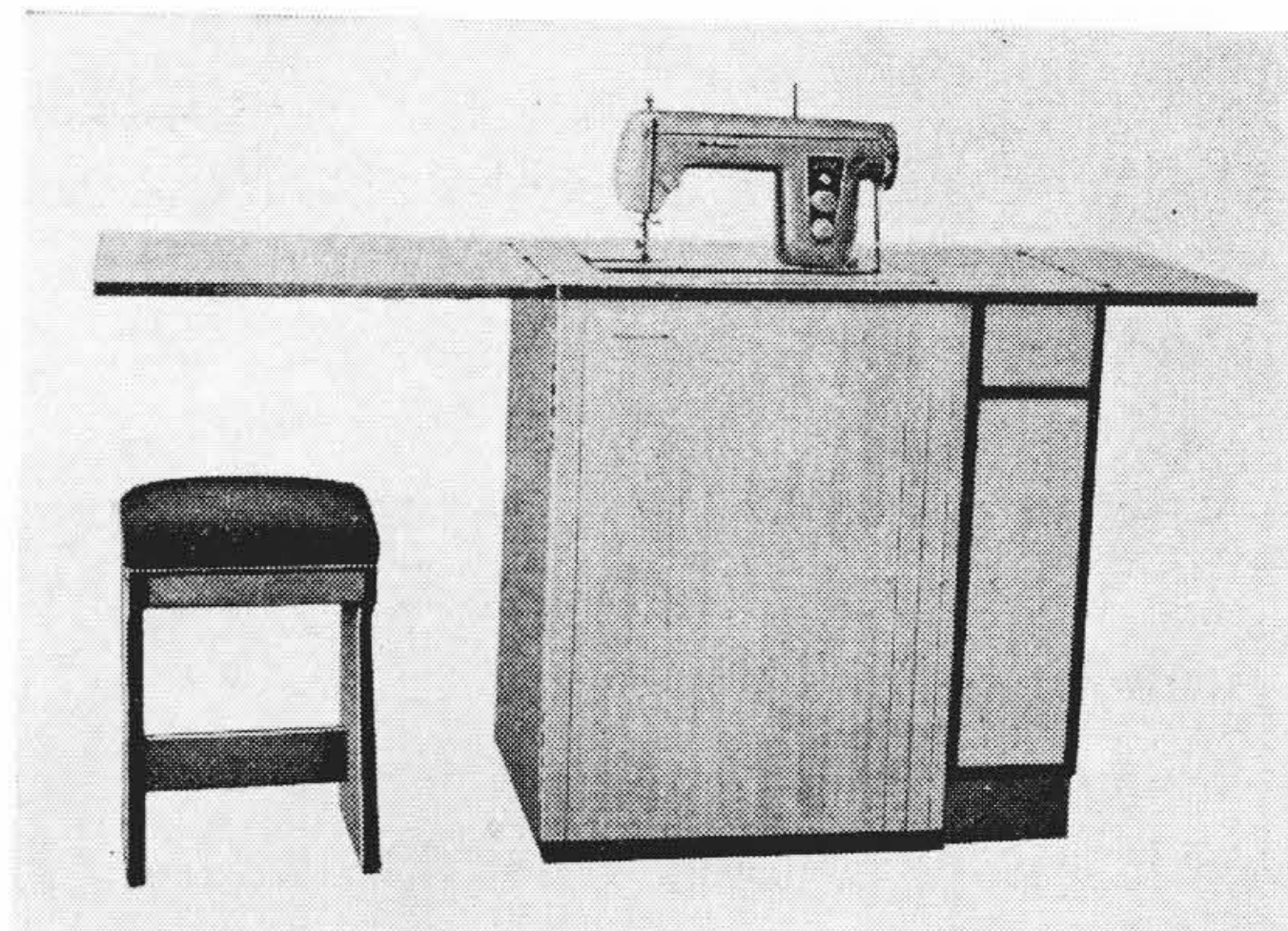
第 32 図 HL-500 形ビルトインライト



第 33 図 卓上用電動ミシンHLM-420 形



第 34 図 高性能職業用ミシンTAT-100 形



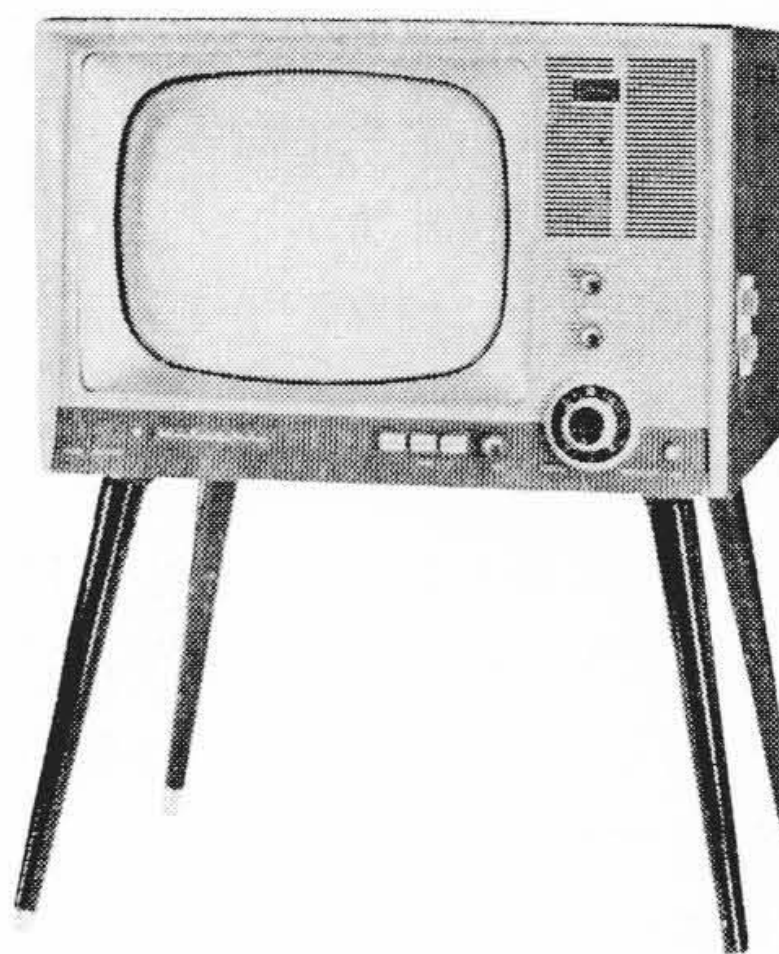
第 35 図 キャビネットミシンHLD-500T 形

やすいが、日立テレビ、ラジオは増産を機に日立総合技術を動員して、巻線類、各種絶縁物のほか全部品に対する基本的な検討を強力に推進して長寿命化を達成することができた。

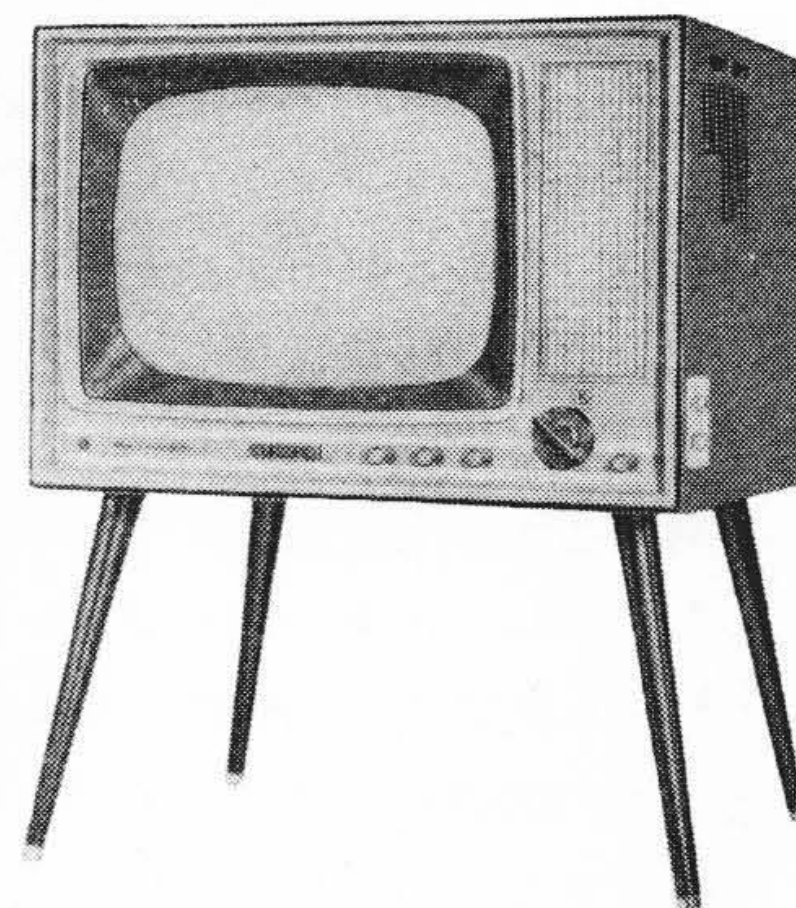
テレビ受信機、ラジオ受信機および電蓄とも業界においては、きわめて末梢的な小手先の変化を追ったセールスポイントを持つ新製品が続々と発表される傾向にあったが、日立は部品の長寿命化を根底とした信頼度の高いセットにより安定した性能を需要者に提供して大きい信頼を得た。このほか意匠研究所の本格的な成果が実り、大幅なデザインの改良や、真空管、トランジスタおよびその回路の改良によるS/N、感度の向上も見のがすことができない34年度の成果である。

10.5.1 テレビ受信機

性能面の向上において特筆すべきことは高周波回路に超高感度真空管 6R-HH1、(または4R-HH2,) 周波数変換回路に5M-HH3を採用することにより、感度は約6dB、雑音指数も約3dBと飛躍的に改善されたこと、また丸形スピーカのすぐれた音質を生かした前面音響方式“シネラミックサウンドシステム”を“シルビア”FY-440、“ジュリエット”SY-330に、さらに“スザンナ”F



第 36 図 “スザンナ”FY-360
テレビ受信機



第 37 図 “ジュリエット”SY-330
テレビ受信機

Y-360, “オフエリア” F Y-280, “マリアンス” T Y-270, “キャサリン” T S Y-130Gには本格的2ウェイスピーカーシステムを備え音響方面に一段の向上を計ったことなどである。また多数の機種に放送条件に応じて最良の画質が選べる押ボタン式ビデオコントロールあるいは電源スイッチを独立の押ボタン式として画も音も調節したままの状態点滅できるワンタッチシステムを採用、離れたところから放送局の切換、音量調節などのできるワイヤ式リモートコントロールユニット C W-30を開発し、上記全機種に取付可能としたこと、部品の改善による性能の向上を計ったことなど種々の進歩もみられる。

“スザンナ” F Y-360, 漸新なデザインの14型のコンソレッド・タイプでダイナミック・サウンド・システム、押ボタン式トーンコントロールなどを採用した。

“ジュリエット” S Y-330, 安定度の高い本機は17型としては球数と電力消費量の少ない経済性のよさを持ったセットである。

“キャサリン” T S Y-130G, わが国テレビの最高峰というべき27型の最大画面、扉付コンソール3スピーカの超豪華セットであり、大きな特長はFMラジオ付であることで、スイッチで自由にテレビとFMラジオが選べる。また音声出力回路はひずみの少ないプッシュプル回路、映像中間周波増幅4段、ノイズキャンセラーなど最高級回路を採用した。

(1) トランジスタテレビ受信機(試作品)

テレビ受信機の小型軽量化よりもむしろ無故障化を目標にして製作したトランジスタテレビ受信機は、外国にもあまり例のない14型90度偏向のブラウン管とトランジスタ33石、ダイオード7石と高圧整流用真空管2本を使用し、国内では初めての全12チャンネル感度 $300\mu\text{V/m}$ の弱電界用のチューナを内装している。消費電力30W、6Vの電池4個を含む全重量17kgで、ACアダプタなしで連続5時間動作可能である。

(2) カラーテレビ受信機(試作品)

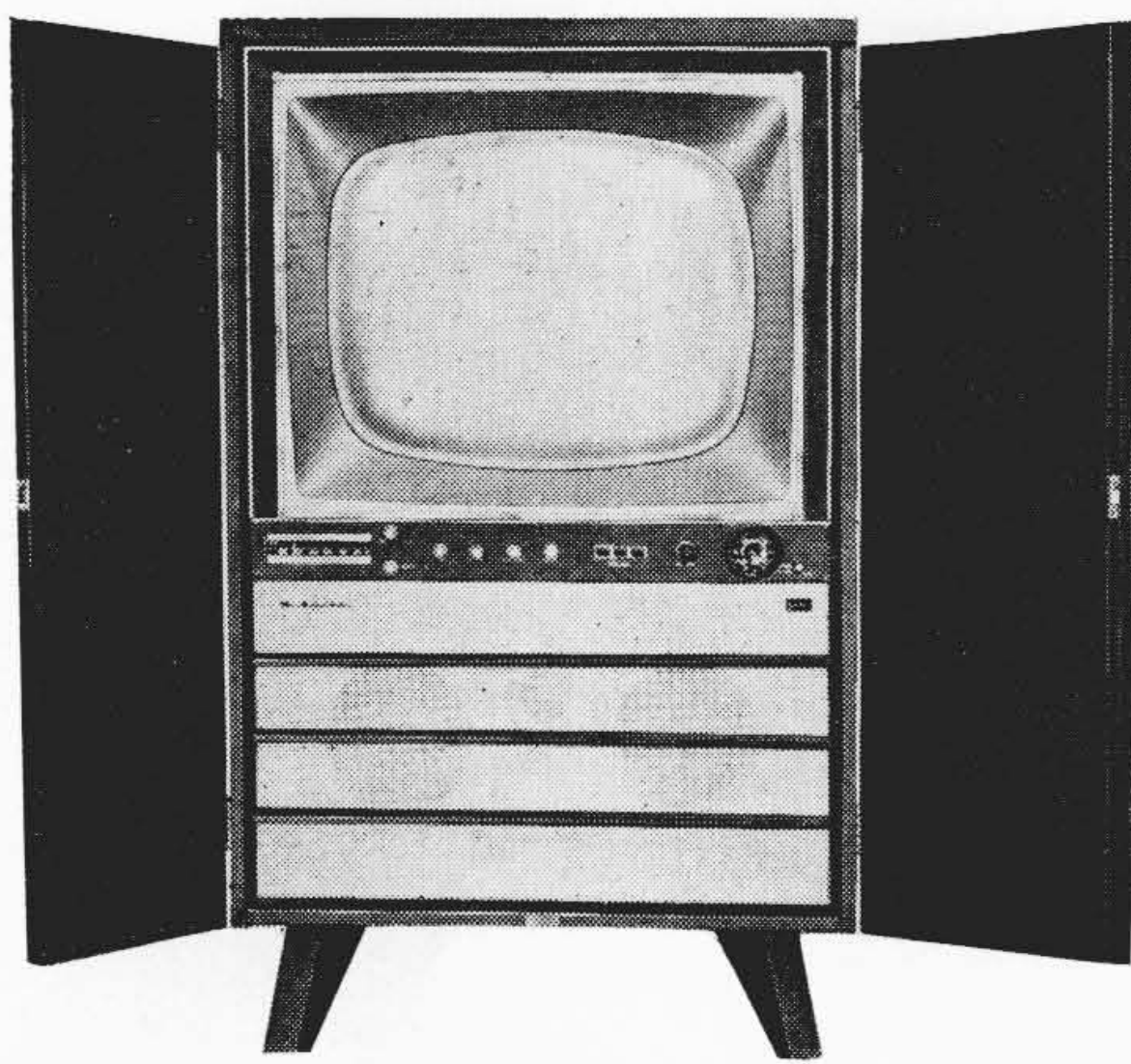
日立製作所では、早くよりカラーテレビ受信機の研究を開始し、各種方式受信機の研究試作を重ねてきた。その中から二種類を取上げて、概略を説明する。

(a) C T-140 B カラーテレビ受信機

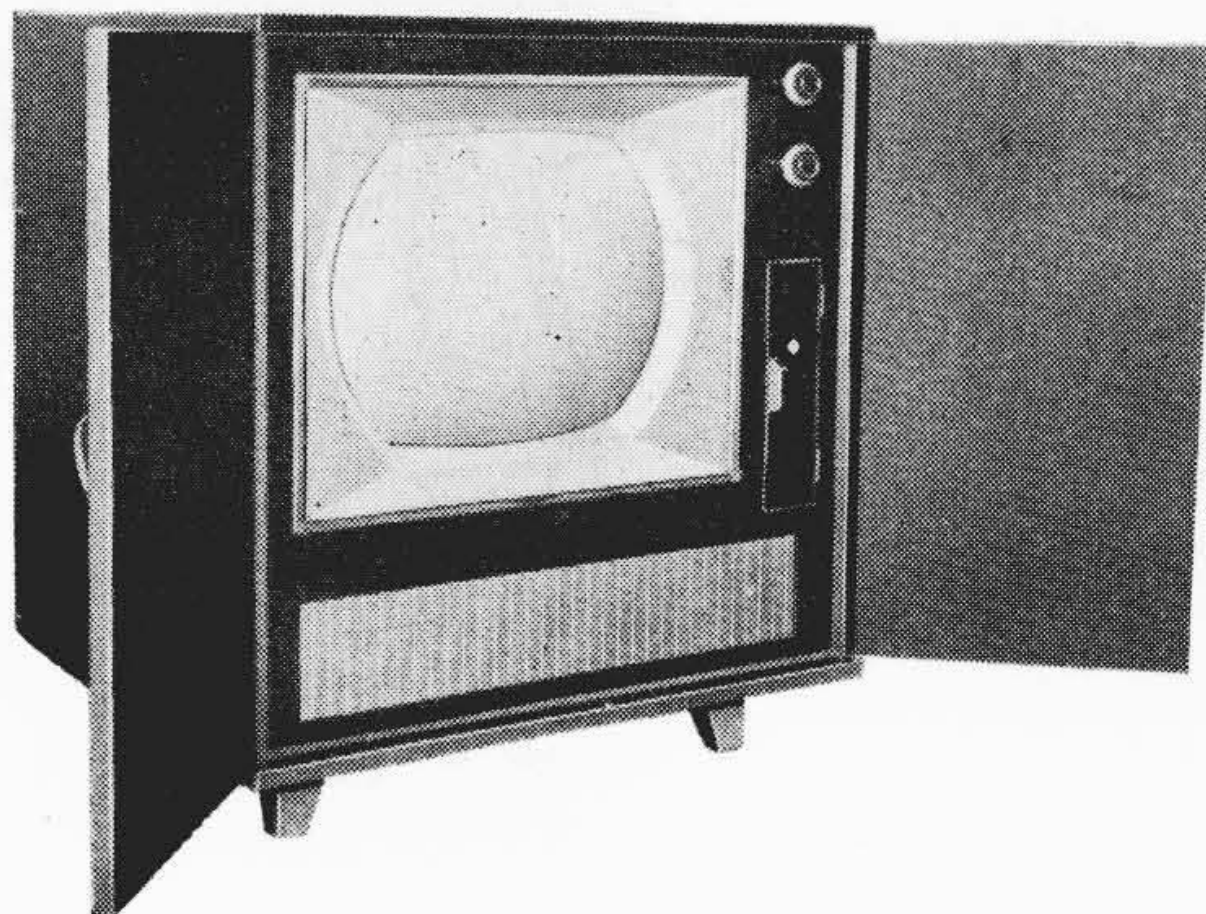
NTSC方式に準拠し、家庭用を目標とした超遠距離用、高解像度のカラーテレビ受信機である。色復調方式はIQ方式を使用し、カラーテレビ用ブラウン管は、日立製21CYP22を用いて、高安定度、高忠実度の性能を得ている。使用真空管数はブラウン管を含めて41本、消費電力は500Wである。

(b) C T-150 カラーテレビ受信機(試作品)

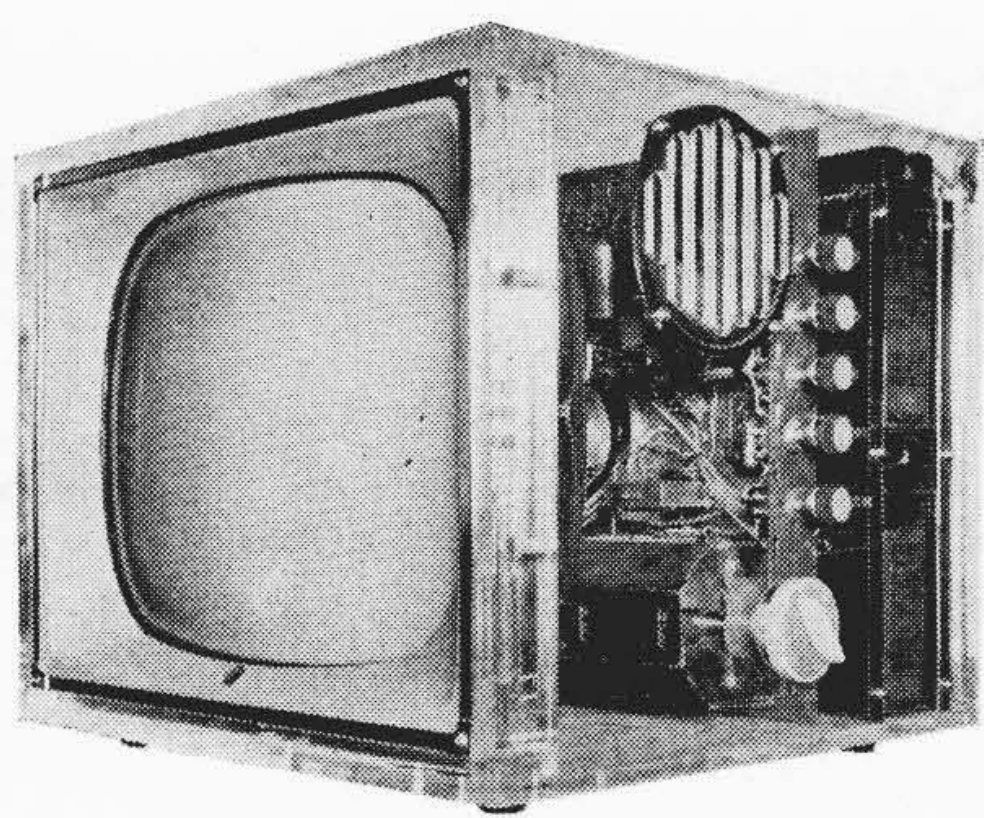
前記同様、NTSC方式に準拠した家庭用超遠距離型カラーテレビ受信機である。色復調方式はXZ方式を使用し、画質を低下させずに簡易化をはかったものである。カラーテレビ用ブラウン管は、日



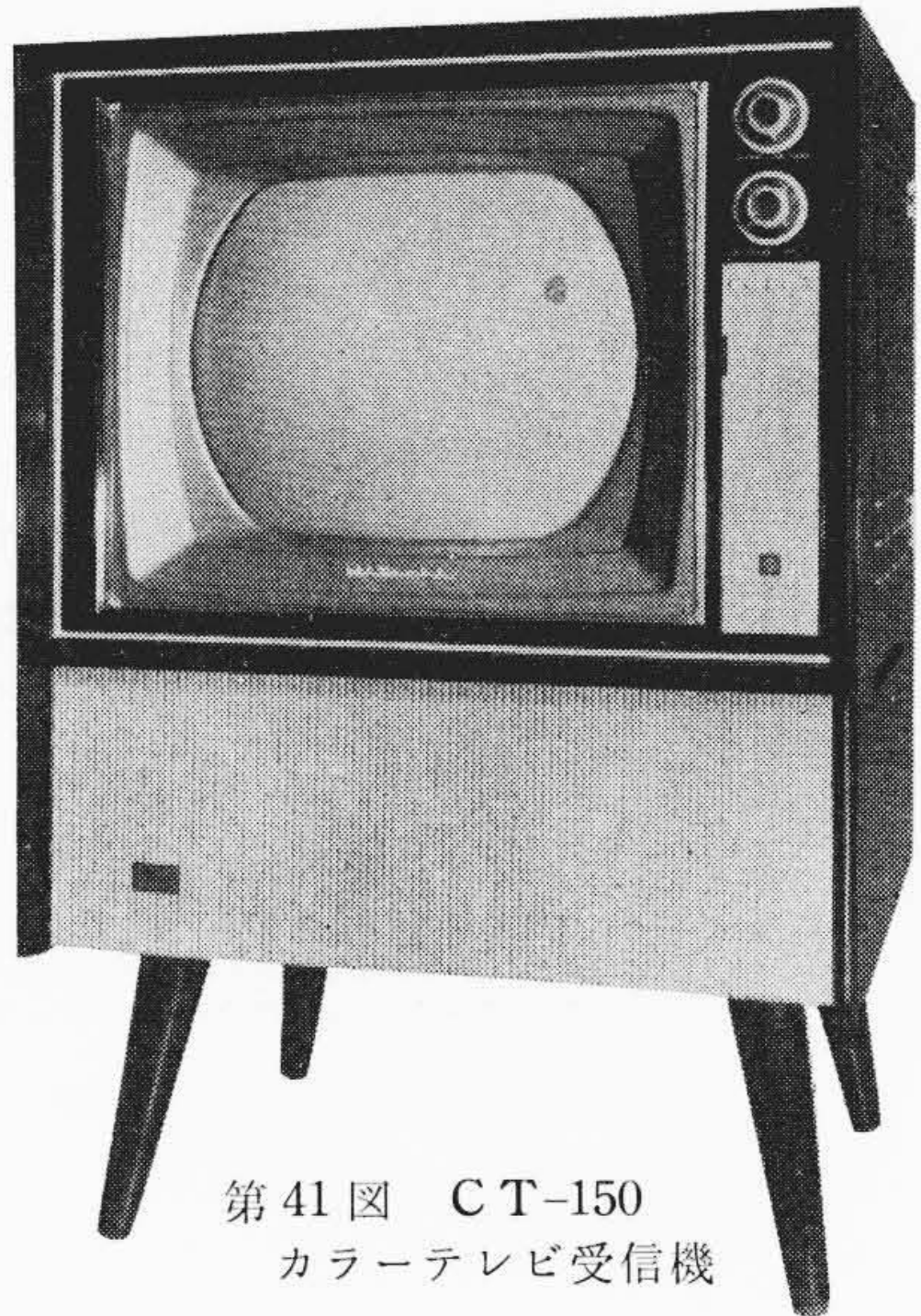
第38図 “キャサリン” TSY-130G テレビ受信機



第40図 CT-140 B カラーテレビ受信機



第39図 トランジスタテレビ受信機



第41図 C T-150
カラーテレビ受信機

立製21CYP22を用い、使用真空管数はブラウン管を含め29本、消費電力は430Wである。

10.5.2 ラジオ

過去1年間にトランジスタラジオ、真空管式ラジオともに多数の新機種を発表した。これらは国内の需要に応ずるのはもちろん、トランジスタラジオは遠く欧米に毎月大量に輸出されている。このうち代表的セットを紹介する。

(1) トランジスタラジオ “アニー” TH-627

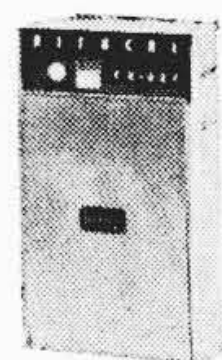
日立ドリフトトランジスタHJ-74を用いた6石超小型ポケットタイプで、特に扁平形に設計されている。選局を容易にするためバーニヤ式を採用し、超小型セットとしての最高の性能、機能を有している。

(2) トランジスタラジオ TH-862R

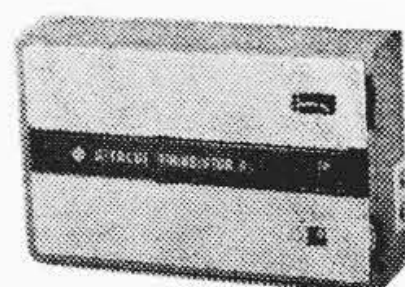
8石式ポケットタイプで、ドリフト1石を使用し、発振はセバレイト方式で、高感度、高S/Nを目標として設計されている。選局を容易にするためバーニヤ式を採用し、主としてアメリカに輸出されている。

(3) トランジスタラジオ “ペギー” WH-901

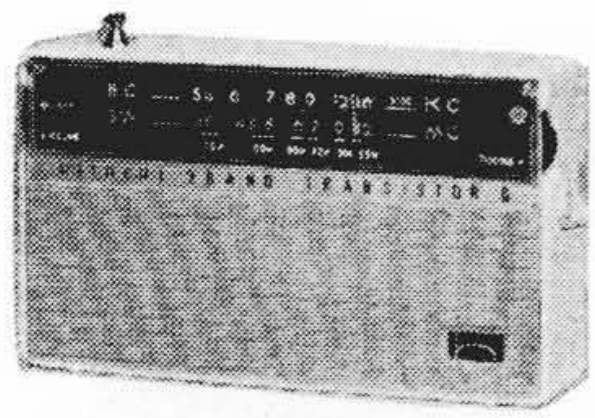
ドリフト3石を使った9石RF付ラジオで、国内どこにおいても聴取可能な高感度セットである。トーンコントロール付で、音



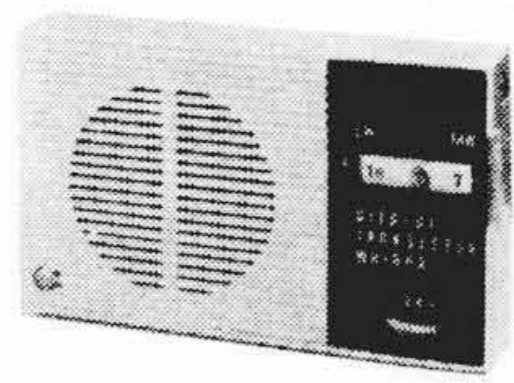
第42図 “アニー” TH-627
6石超小型トランジスタラジオ



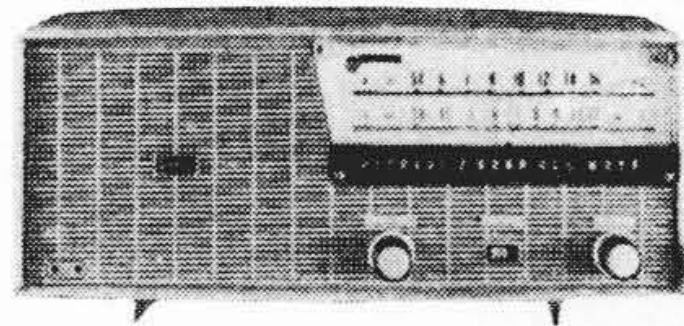
第43図 TH-862R 8石
トランジスタラジオ



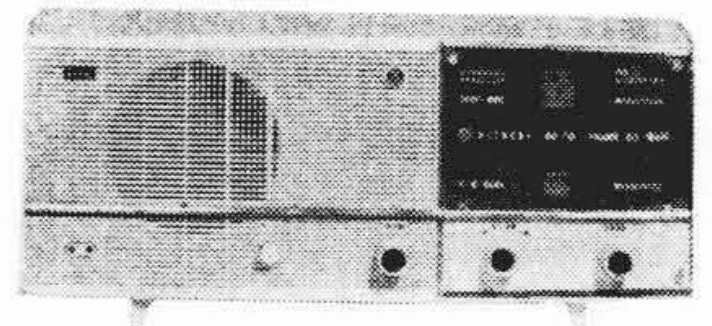
第 44 図 “ベギー” WH-901
2 バンド 9 石超高感度ト
ランジスタラジオ



第 45 図 WH-662 2 バ
ンド (Long Wave) ト
ランジスタラジオ



第 46 図 “エーダ” S-528
小形ホームラジオ



第 47 図 “アンナ” F-632
AM/FM ホームラジオ

量、音質ともにすぐれた最高級製品である。

(4) トランジスタラジオ WH-662

主として欧州市場を対象とし設計された長波付 2 バンドで、6.5cm スピーカーを使用し特に音質の良さを考慮して設計されている。

(5) ホームラジオ “エーダ” S-528

家族 1 人に 1 台という目標で設計されたきわめて廉価の 2 バンドオールウェーブラジオである。強力 10cm スピーカを使用し、小形ラジオとは思えない豊かで美しい音質を出すことができる。レコードプレーヤーを併用するとそのまま電蓄となるピックアップ端子をもち、またイヤホンが取り付けられるジャック 2 個を備えている。

(6) ホームラジオ “アンナ” F-632

きわめてすくない予算で FM 放送をも楽しめるよう設計された 3 バンドホームラジオで、中形ラジオの決定版である。

ワンタッチスイッチ、ピックアップ端子、イヤホン、ソケット 2 個を有し、和室にも洋間にも合うシックなデザインとなっている。

10.5.3 電 蓄

(1) ステレオ電蓄 PSG-520

コンソレットタイプの優美な高級木製キャビネットに収められた PSG-520 電蓄は脚を取外せば卓上形電蓄ともなり、和風洋風いずれの室にもマッチする設計となっている。ラジオ部分は上面操作型のダイヤルスケール板をもつ 2 バンドオールウェーブラジオであり、16cm ダイナミックスピーカ 2 個を有し豊かで美しい Hi Fi 音をたのしむことができる。



第 48 図 PGS-520 Hi Fi
ステレオ電蓄



第 49 図 A-520G アンプ付 HiF
ステレオスピーカボックス

プレーヤーは SP 盤から LP, ST (ステレオ) 盤レコードまで自由に演奏可能な 4 スピード・ステレオプレーヤーであり、ピックアップにはきわめて広いダイナミックレンジをもつ高級サファイヤー針付きのカートリッジを備えている。

(2) アンプ付スピーカーボックス A-520G

アンプおよび 16cm ダイナミックスピーカ 2 個を有し、PSG-520 電蓄と併用することによりすばらしい迫力と立体感あふれた Hi Fi ステレオ電蓄となる。

Vol. 22 目 次 No. 1

- ◎たずかっている.....町 春草
- ◎電子計算機のはたらき
- ◎各方面で活躍する日立エレクトリックエアクリーナ
- ◎銚子で活躍するタクシー群
- ◎明日への道標 “500t/h 橋形クレーン”
- ◎日立 だ よ り
- ◎日立 ハイライト “日 高 分 工 場 施 設”
- ◎超 高 圧 送 電 A C S R
- ◎スタッカ・リクレーマによる連続荷役
- ◎空 気 輸 送 の は な し
- ◎新 し い 照 明 施 設

発行所 日立評論社
東京都千代田区丸ノ内1丁目4番地
振替口座 東京 71824 番
取次店 株式会社オーム社書店
東京都千代田区神田錦町3の1
振替口座 東京 20018 番

日立造船技報

Vol. 20 目 次 No. 3

- ◎木船構造における固着釘と木材との関係
- ◎曳船の曳綱緩衝装置について
- ◎水油タンクの測深表の横傾斜に関する修正について
- ◎電気炉における酸素製鋼の応用に対する研究
- ◎ストロングバックに関する研究
- ◎高張力鋼ユニオンメルト溶接における溶着金属の切欠きじん性について
- ◎ポリエステル系樹脂塗料について
- ◎かじ性能に及ぼすプロペラ後流の影響について

本誌につきましても御照会は下記発行所へ
お願いいたします。

日立造船株式会社技術研究所
大阪市此花区桜島北之町